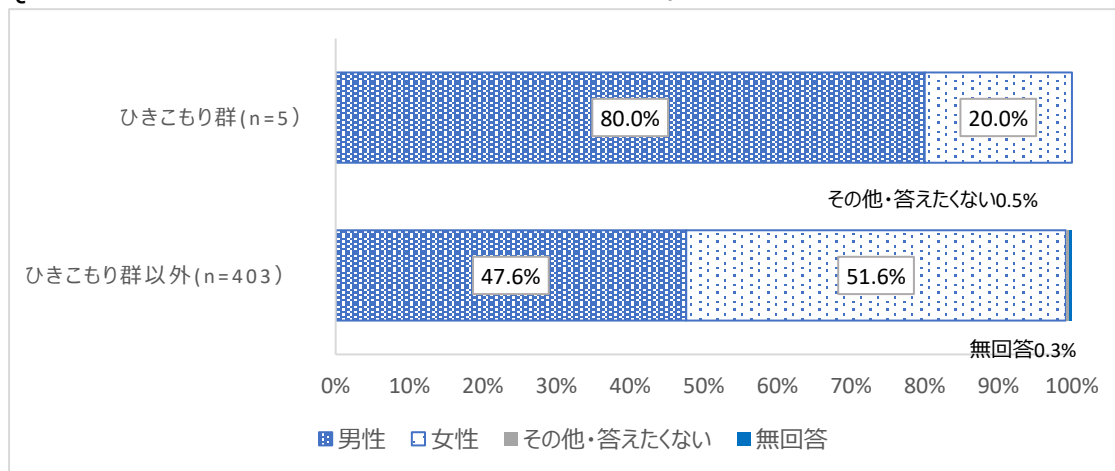


(3) ひきこもり群／ひきこもり群以外における分布

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

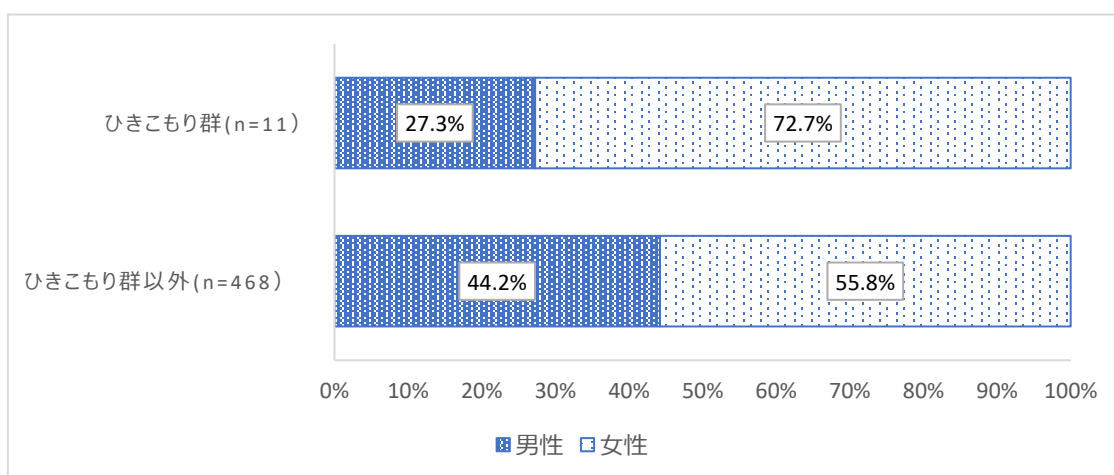
Q1 宛名の方の性別をお答えください。（○はひとつだけ）



回答者の性別はひきこもり群では、「男性」80.0%、「女性」20.0%、ひきこもり群以外では、「男性」47.6%、「女性」51.6%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

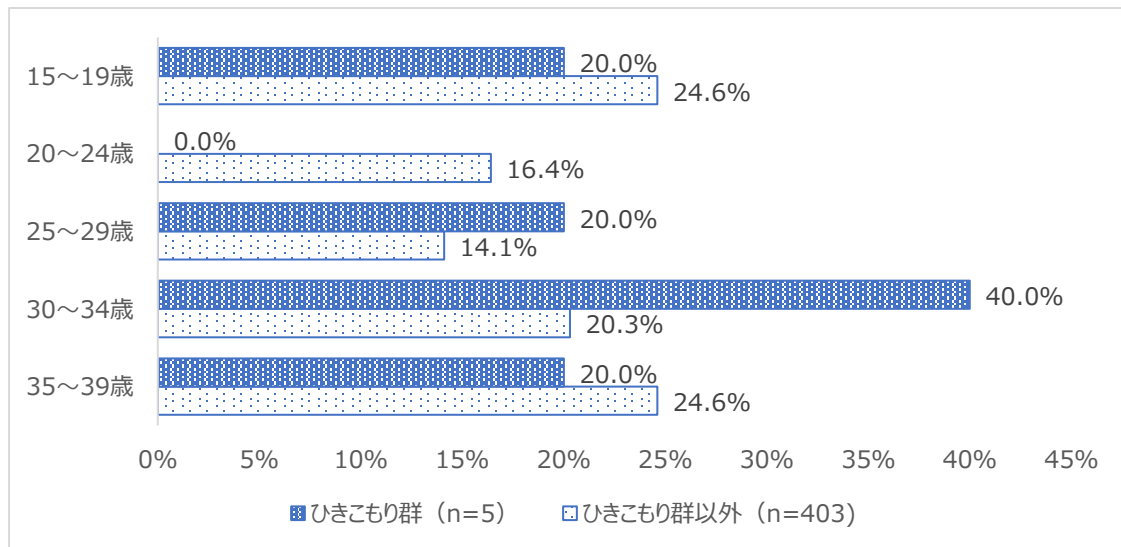
Q1 宛名の方の性別をお答えください。（○はひとつだけ）



回答者の性別はひきこもり群では、「男性」27.3%、「女性」72.7%、ひきこもり群以外では、「男性」44.2%、「女性」55.8%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

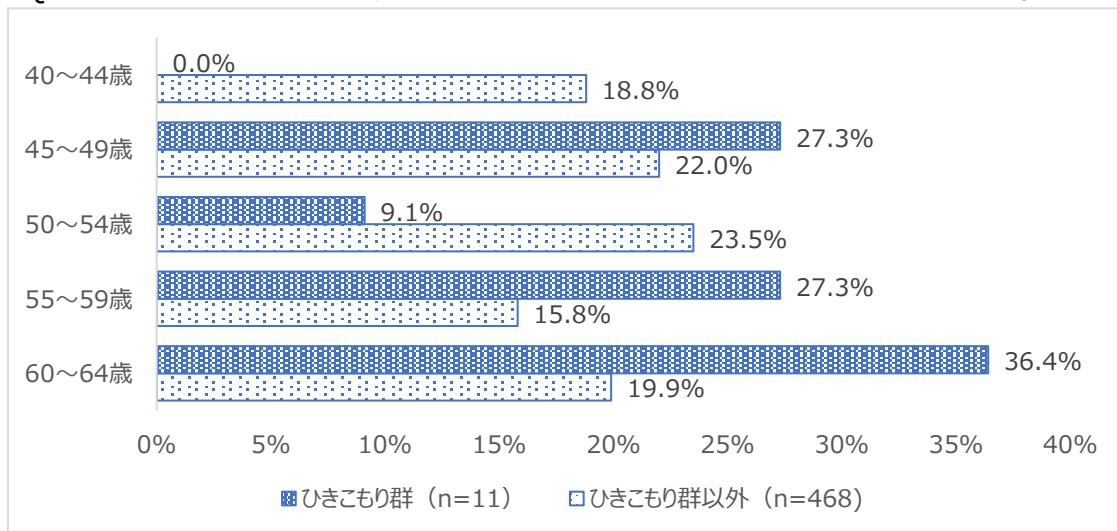
Q3 2021年12月1日時点の宛名の方の年齢をお答えください。（○はひとつだけ）



年齢について聞いたところ、「30～34歳」をあげた人の割合はひきこもり群で40.0%、ひきこもり群以外で20.3%、「15～19歳」をあげた人の割合はひきこもり群で20.0%、ひきこもり群以外で24.6%、「25～30歳」をあげた人の割合はひきこもり群で20.0%、ひきこもり群以外で14.1%、「35～39歳」がひきこもり群で20.0%、ひきこもり群以外で24.6%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

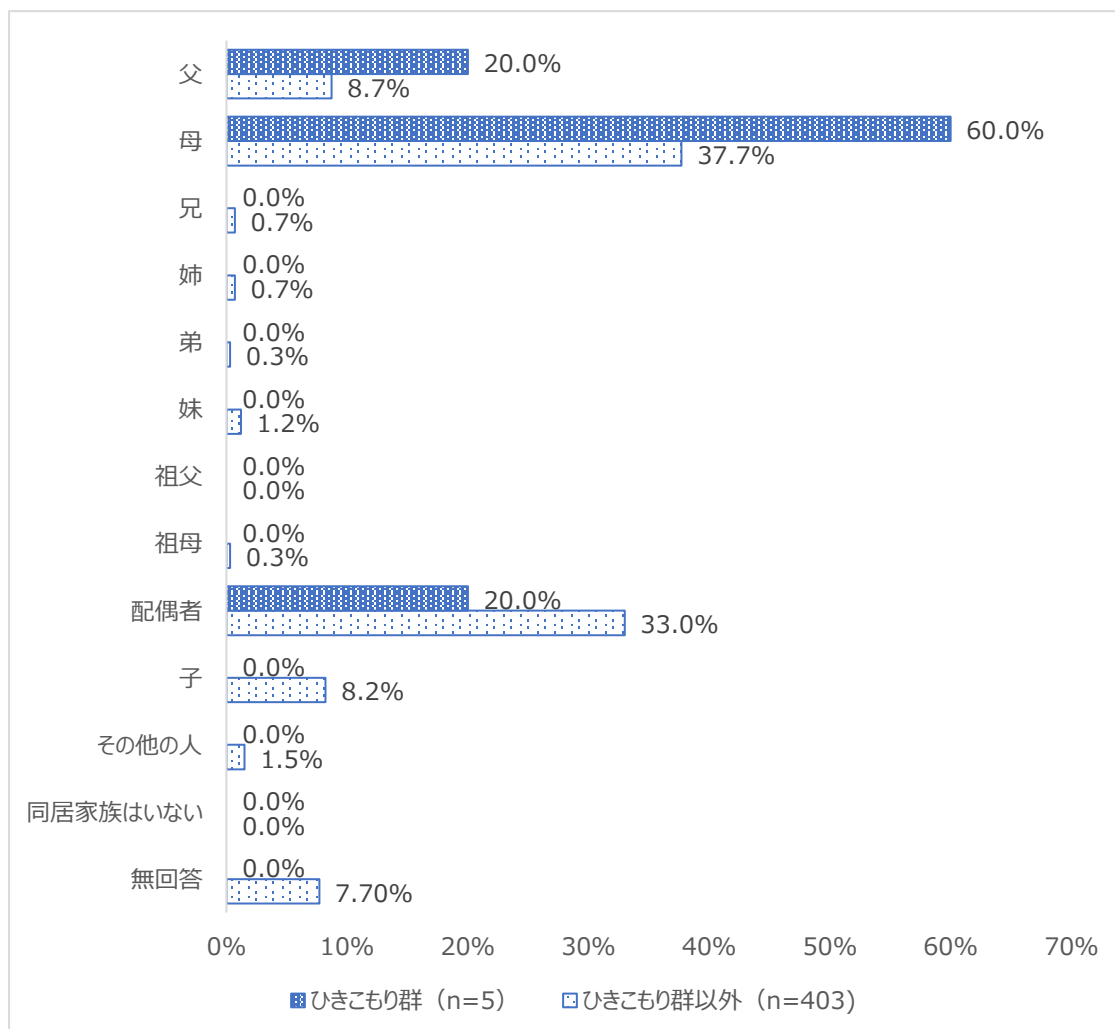
Q3 2021年12月1日時点の宛名の方の年齢をお答えください。（○はひとつだけ）



年齢について聞いたところ、「60～64歳」をあげた人の割合はひきこもり群で36.4%、ひきこもり群以外で19.9%、「45～49歳」をあげた人の割合はひきこもり群で27.3%、ひきこもり群以外で22.0%、「55～59歳」をあげた人の割合はひきこもり群で27.3%、ひきこもり群以外で15.8%となっている。

同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

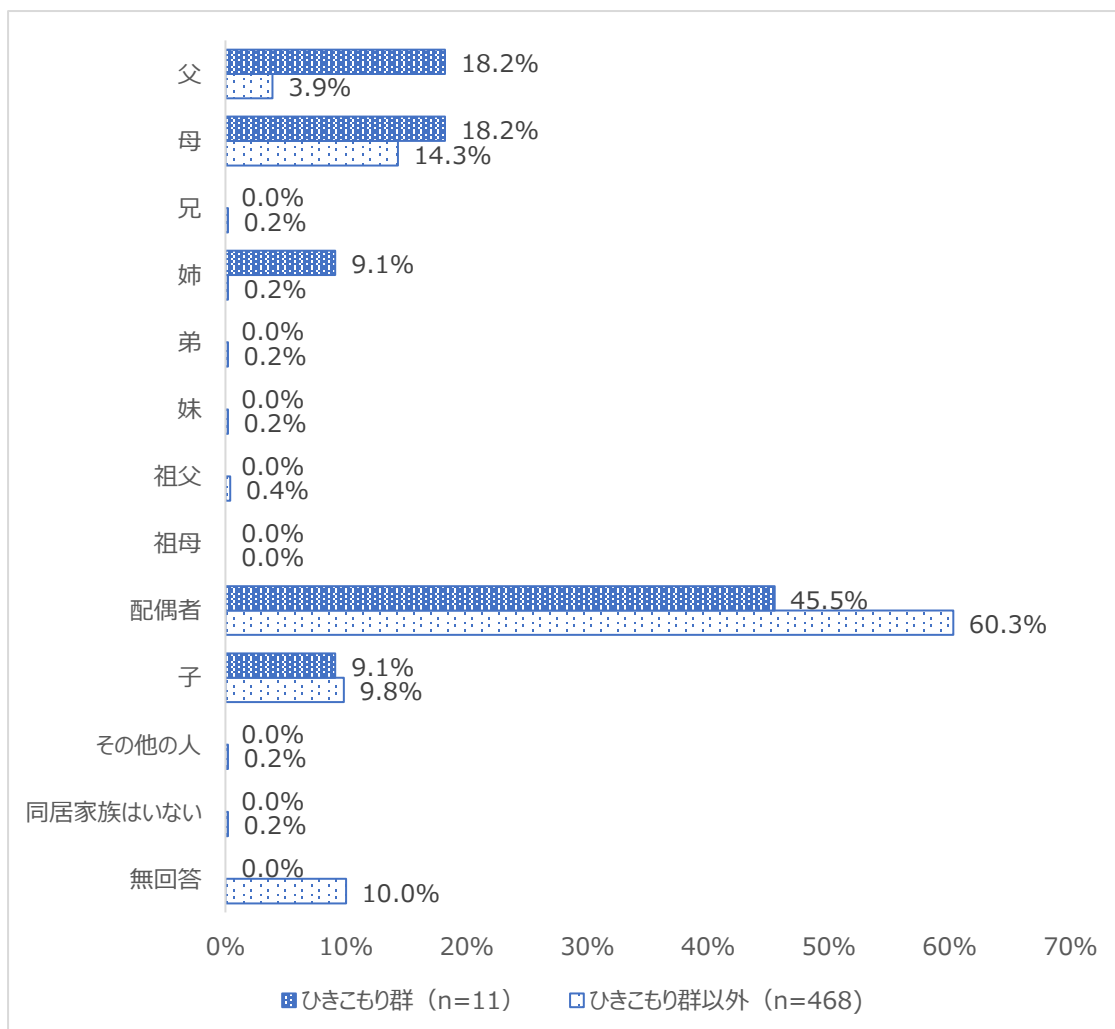
Q4 2021年12月1日時点で宛名の方と同居していた方(あなた)について、**宛名の方**からみて該当する続柄に○をつけてください。



同居している方からみた宛名の方との関係について聞いたところ、「母」をあげた人の割合はひきこもり群で 60.0%、ひきこもり群以外で 37.7%、「父」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 8.7%、「配偶者」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 33.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

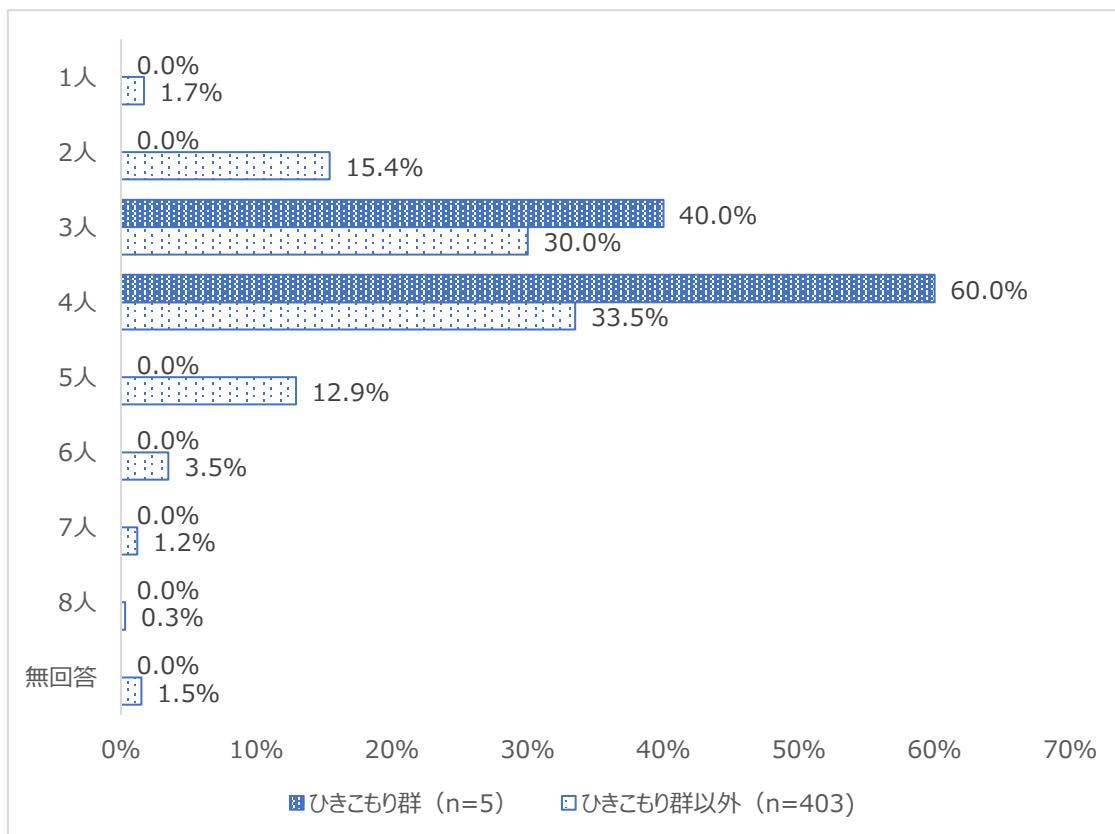
Q4 2021年12月1日時点で宛名の方と同居していた方(あなた)について、**宛名の方**からみて該当する続柄に○をつけてください。



同居している方からみた宛名の方との関係について聞いたところ、「配偶者」をあげた人の割合はひきこもり群で 45.5%、ひきこもり群以外で 60.3%、「父」をあげた人の割合はひきこもり群で 18.2%、ひきこもり群以外で 3.9%、「母」をあげた人の割合はひきこもり群で 18.2%、ひきこもり群以外で 14.3%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

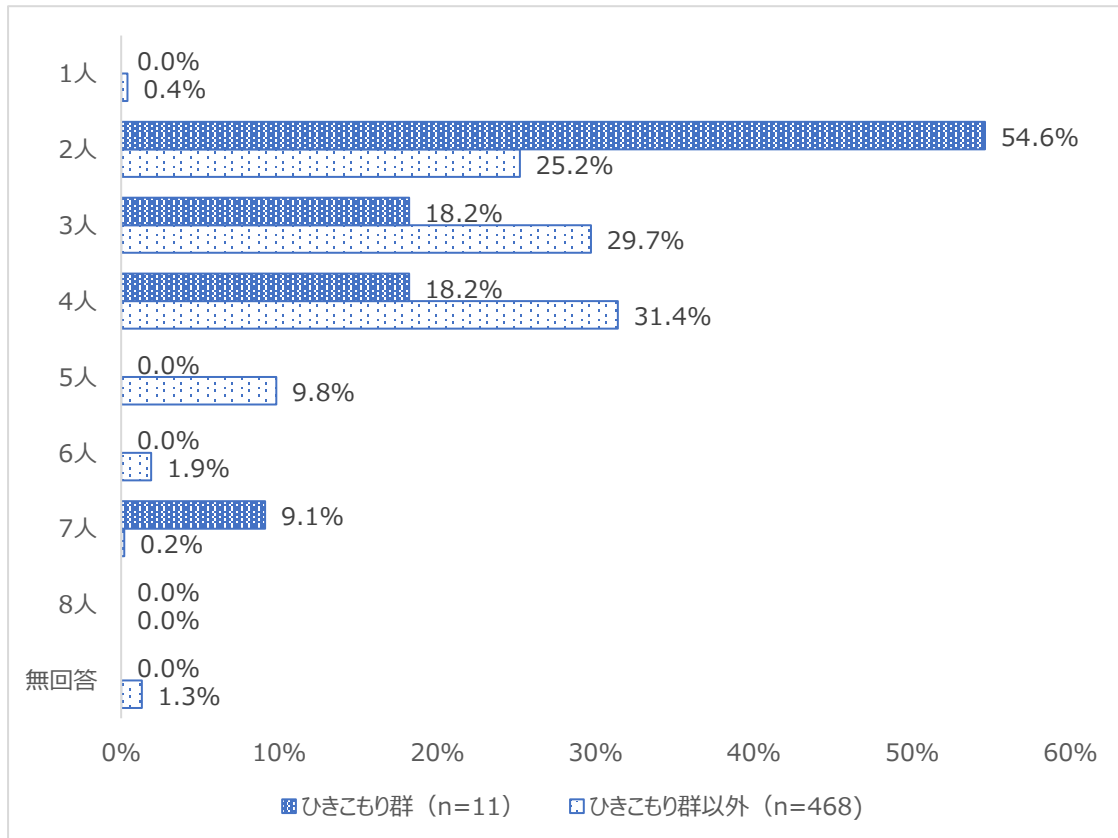
Q5 2021年12月1日時点で同居していた人は合計で何人ですか。**宛名の方も**含めた人数を記入してください。



同居していた人数を聞いたところ、「4人」をあげた人の割合はひきこもり群で60.0%、ひきこもり群以外で33.5%、「3人」をあげた人の割合はひきこもり群で40.0%、ひきこもり群以外で30.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

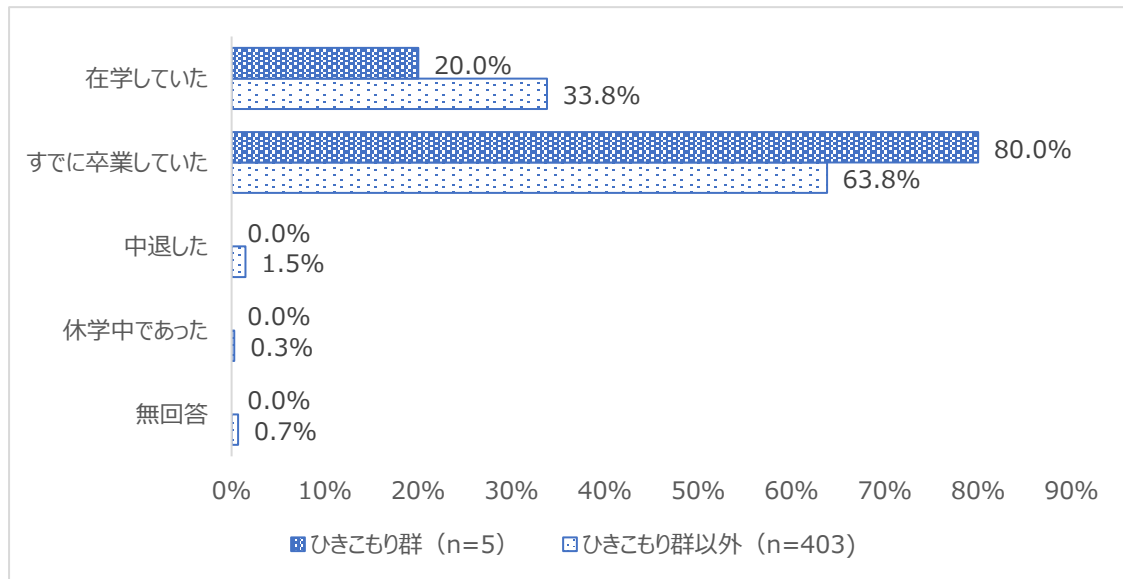
Q5 2021年12月1日時点で同居していた人は合計で何人ですか。**宛名の方も**含めた人数を記入してください。



同居していた人数を聞いたところ、「2人」をあげた人の割合はひきこもり群で54.6%、ひきこもり群以外で25.2%、「3人」をあげた人の割合はひきこもり群で18.2%、ひきこもり群以外で29.7%、「4人」をあげた人の割合はひきこもり群で18.2%、ひきこもり群以外で31.4%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

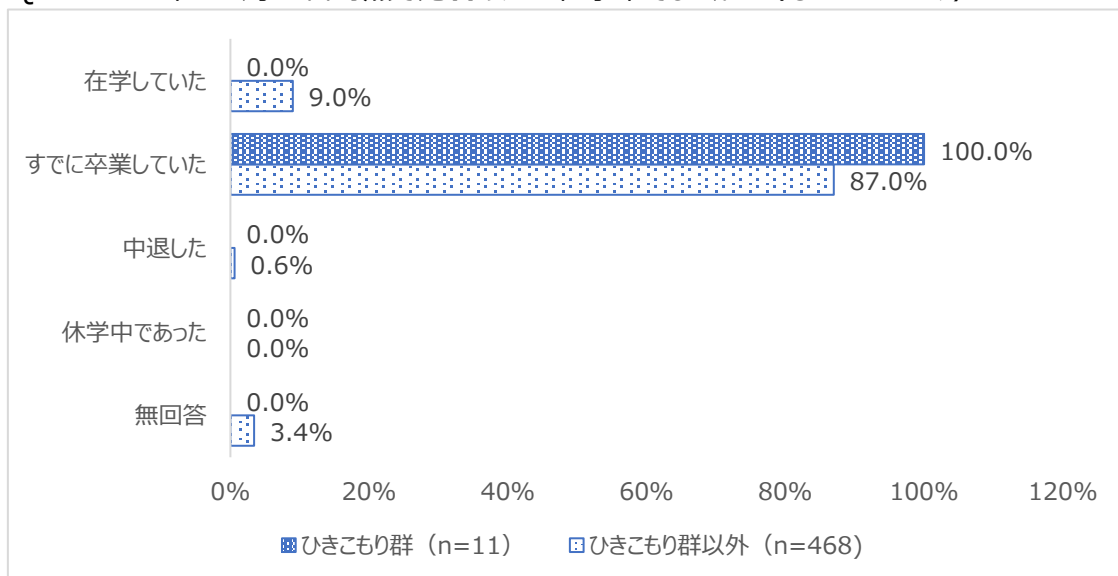
Q6 2021年12月1日時点で宛名の方は在学中でしたか。（○はひとつだけ）



在学中であったか聞いたところ、「すでに卒業していた」をあげた人の割合は、ひきこもり群で 80.0%、ひきこもり群以外で 63.8%となっている。「在学していた」をあげた人の割合は、ひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 33.8%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

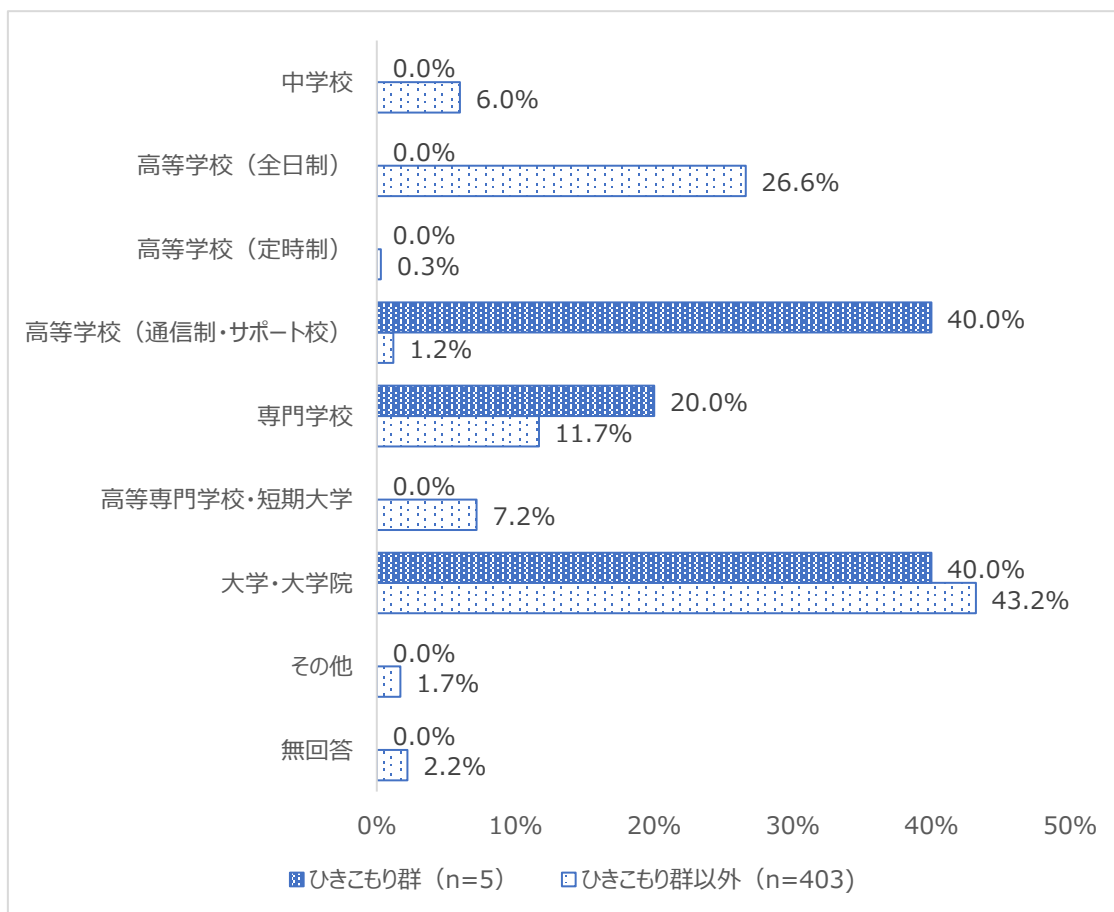
Q6 2021年12月1日時点で宛名の方は在学中でしたか。（○はひとつだけ）



在学中であったか聞いたところ、「すでに卒業していた」をあげた人の割合は、ひきこもり群で 100.0%、ひきこもり群以外で 87.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

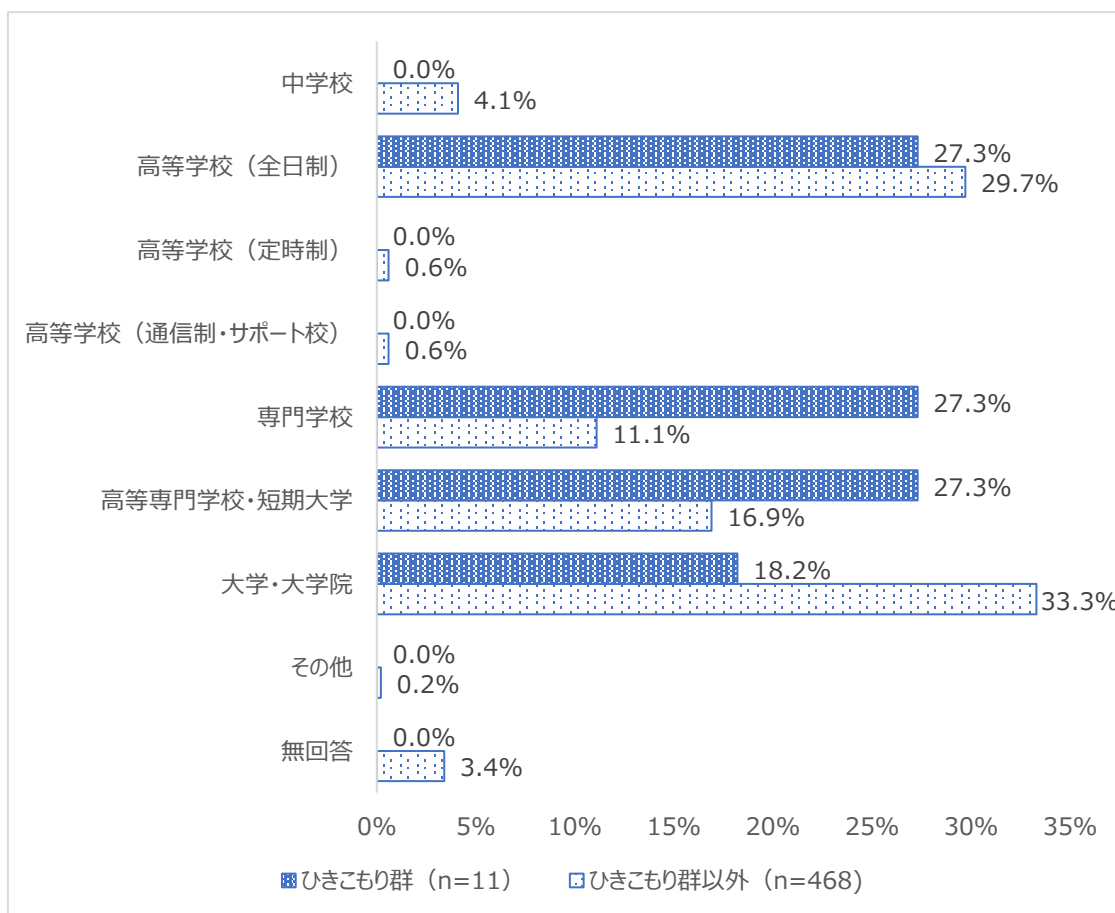
Q7 宛名の方が最後に卒業（中退を含む）した、または2021年12月1日時点で在学していた学校はどれですか。（○はひとつだけ）



最後に卒業（中退を含む）した、または在学していた学校について聞いたところ、「高等学校（通信制・サポート校）」をあげた人の割合はひきこもり群で 40.0%、ひきこもり群以外で 1.2%、「大学・大学院」をあげた人の割合はひきこもり群で 40.0%、ひきこもり群以外で 43.2%、「専門学校」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 11.7%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

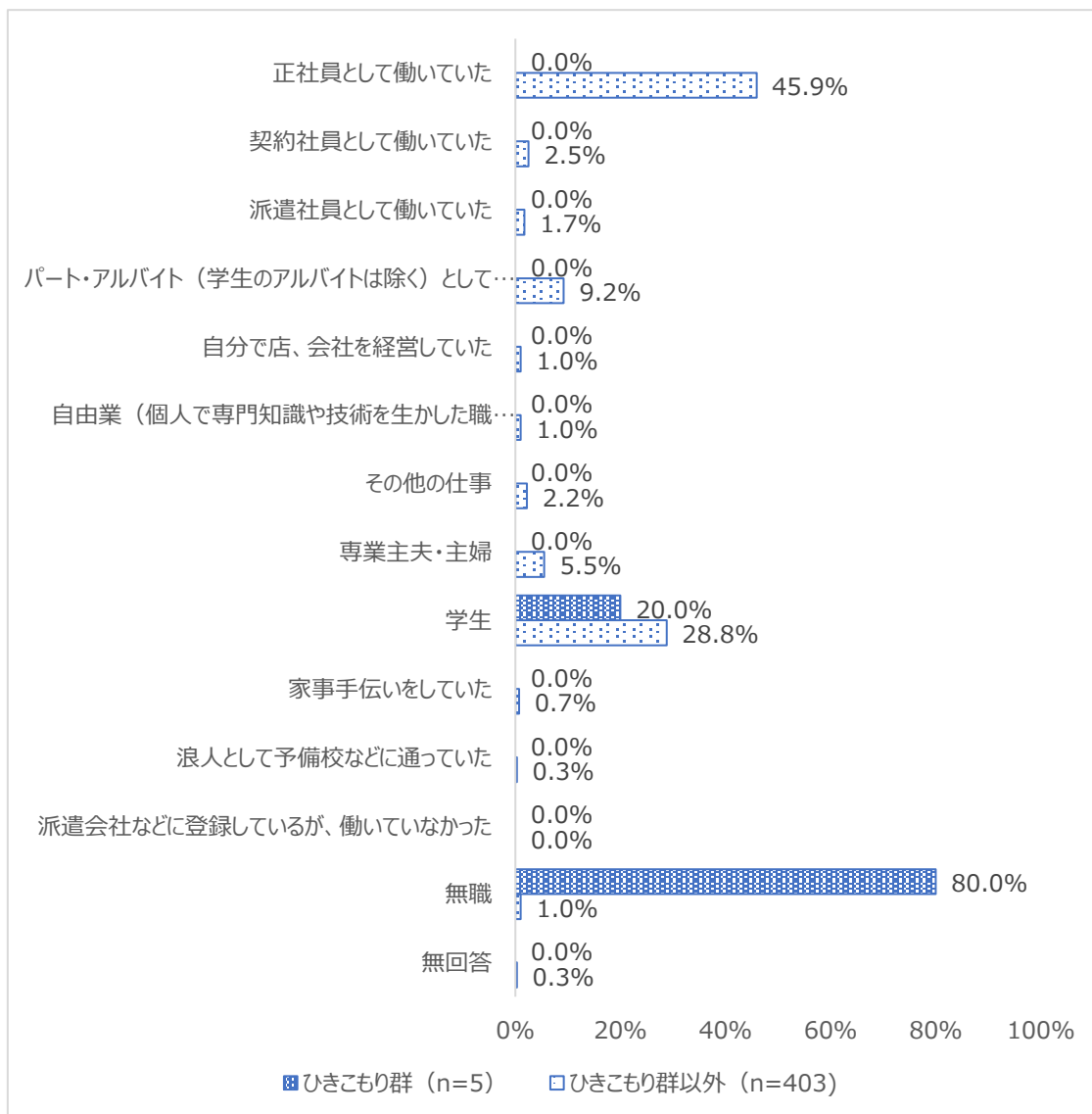
Q7 宛名の方が最後に卒業（中退を含む）した、または2021年12月1日時点で在学していた学校はどれですか。（○はひとつだけ）



最後に卒業（中退を含む）した、または在学していた学校を聞いたところ、「高等学校（全日制）」をあげた人の割合はひきこもり群で 27.3%、ひきこもり群以外で 29.7%、「専門学校」をあげた人の割合はひきこもり群で 27.3%、ひきこもり群以外で 11.1%、「高等専門学校・短期大学」をあげた人の割合は、ひきこもり群で 27.3%、ひきこもり群以外で 16.9%、「大学・大学院」をあげた人の割合は、ひきこもり群で 18.2%、ひきこもり群以外で 33.3%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

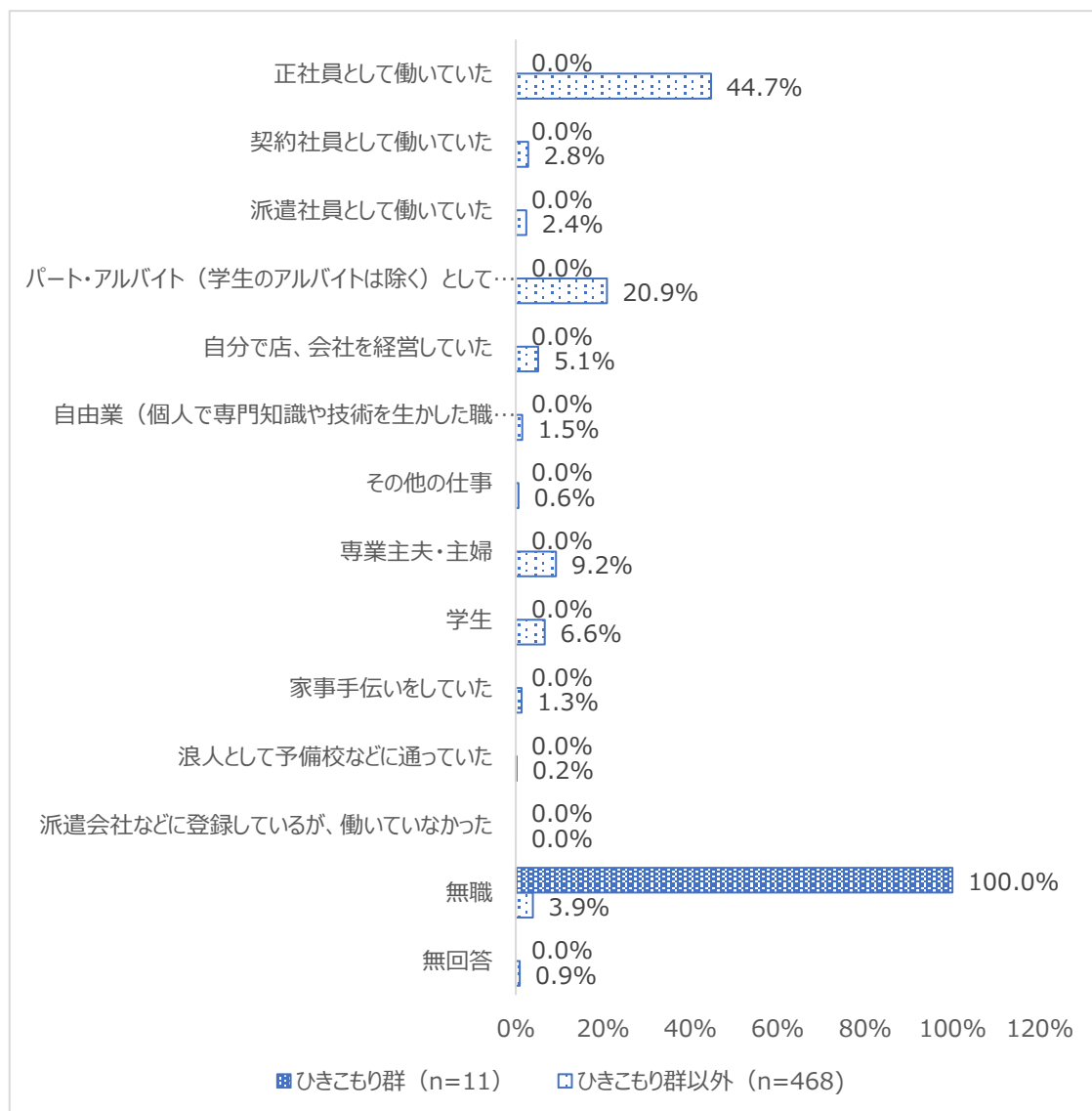
Q8 宛名の方は働いていましたか。（直近の1年間で最も長期間あてはまるものにひとつだけ〇）



働いていたかを聞いたところ、「無職」をあげた人の割合はひきこもり群で 80.0%、ひきこもり群以外で 1.0%、「学生」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 28.8%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

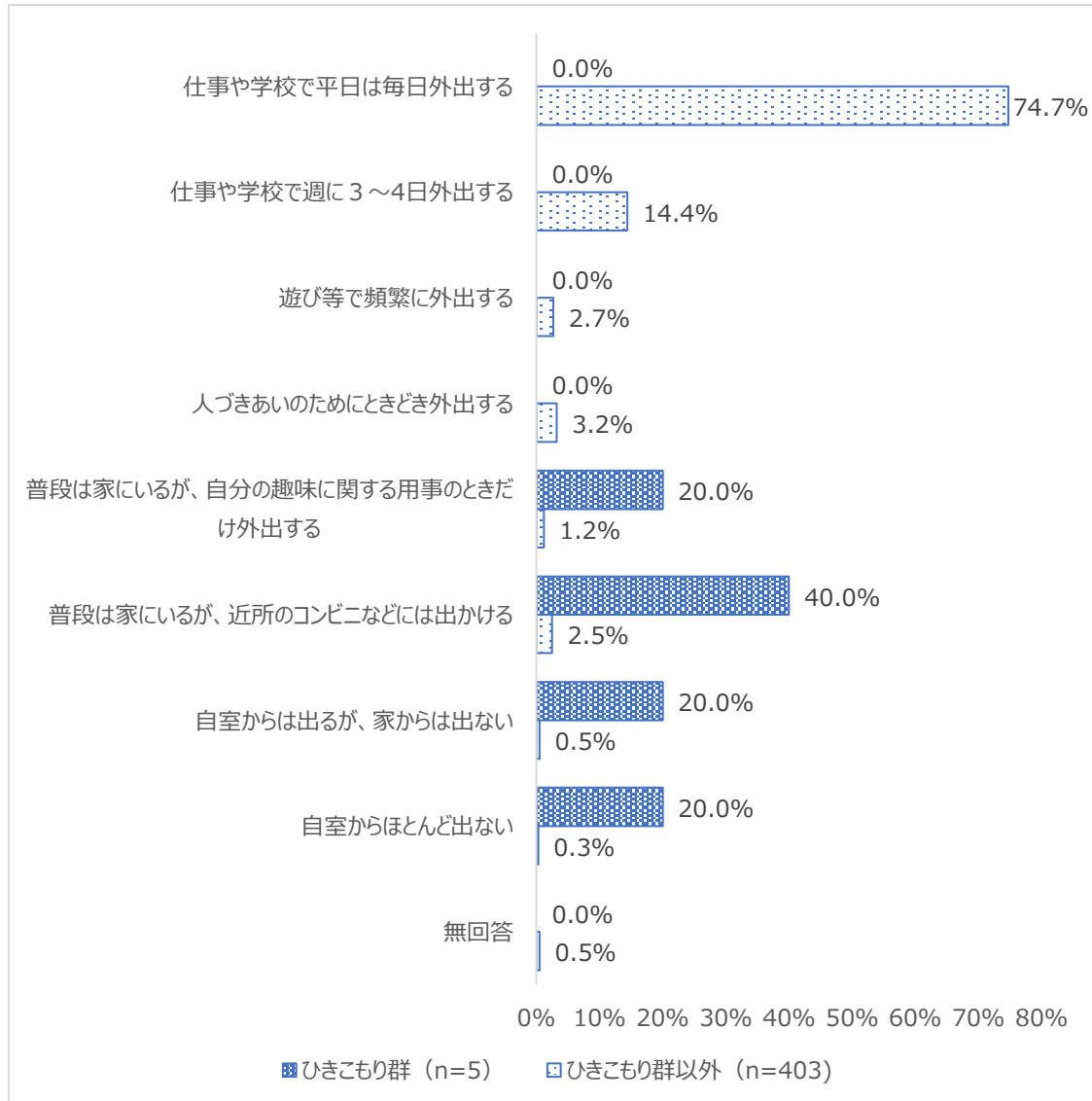
Q8 宛名の方は働いていましたか。（直近の1年間で最も長期間あてはまるものにひとつだけ○）



働いていたかを聞いたところ、「無職」をあげた人の割合はひきこもり群で 100.0%、ひきこもり群以外で 3.9%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

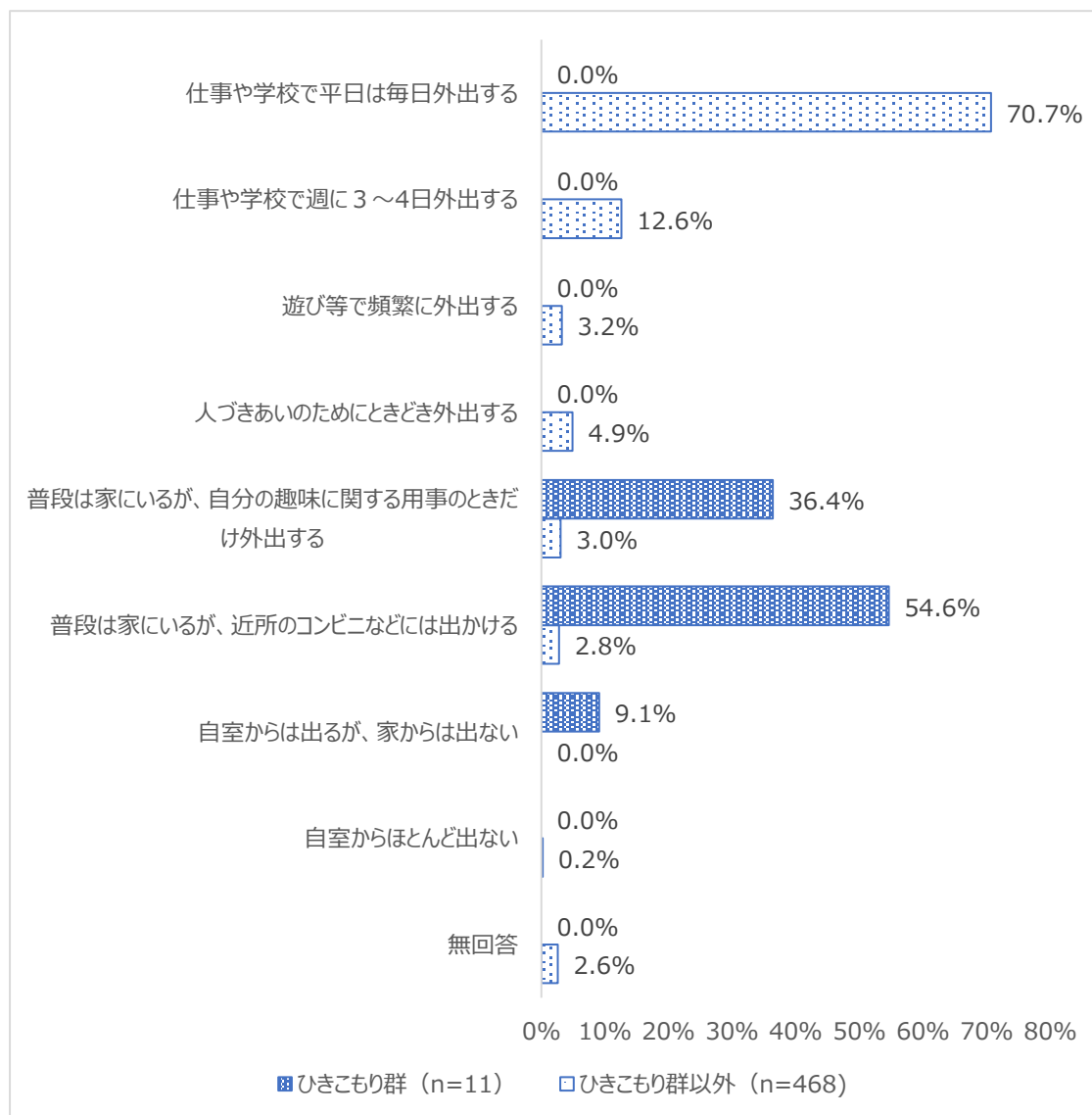
Q9 宛名の方は直近の1年間で、普段、どれくらい外出していましたか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）



普段の外出頻度を聞いたところ、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」をあげた人の割合はひきこもり群で 40.0%、ひきこもり群以外で 2.5%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 1.2%、「自室からは出るが、家からは出ない」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 0.5%、「自室からほとんど出ない」をあげた人の割合はひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 0.3%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q9 宛名の方は直近の1年間で、普段、どれくらい外出していましたか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

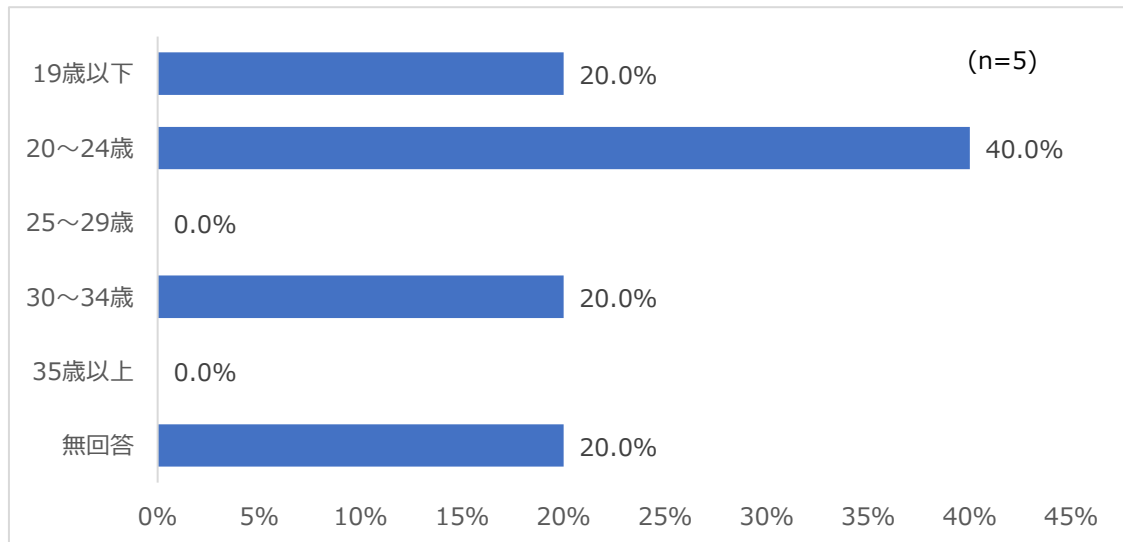


普段の外出頻度を聞いたところ、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」をあげた人の割合はひきこもり群で 54.6%、ひきこもり群以外で 2.8%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」をあげた人の割合はひきこもり群で 36.4%、ひきこもり群以外で 3.0%となっている。

Q10～Q19 は、Q9 において、外出頻度が低かった方のみが回答する項目である。
その中でもひきこもり群に該当する方の結果について記載する。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

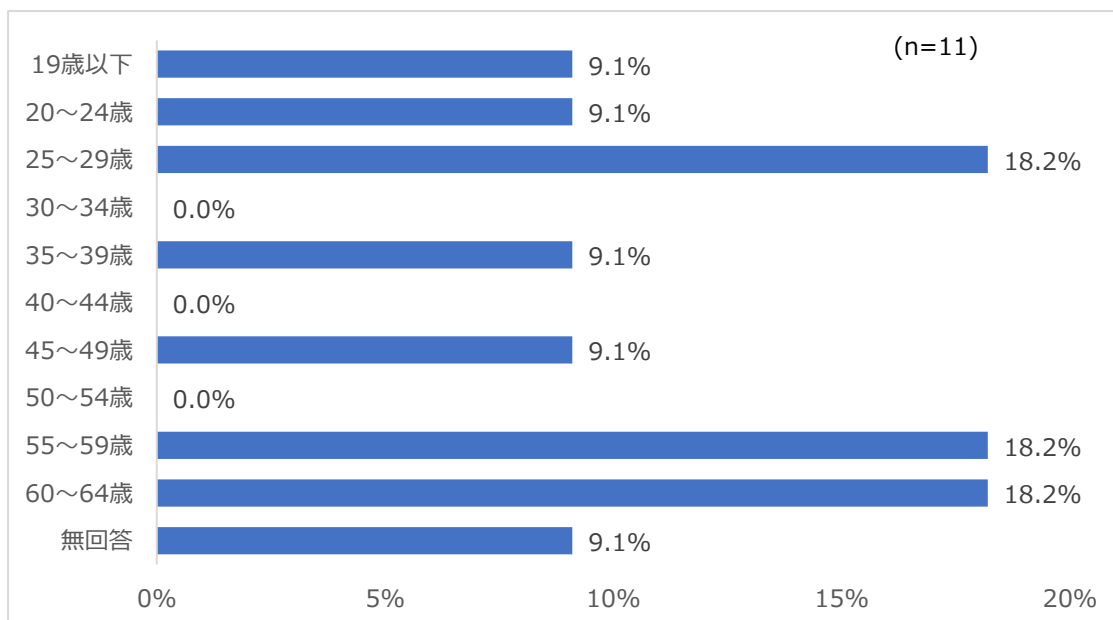
Q10 Q9 の状態になったのは、**宛名の方**が何歳の頃ですか。



Q9 の状態になったのは、何歳の頃かについて聞いたところ、「20～24 歳」をあげた人の割合は 40.0%、「19 歳以下」「30～34 歳」「無回答」をあげた人の割合はそれぞれ 20.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

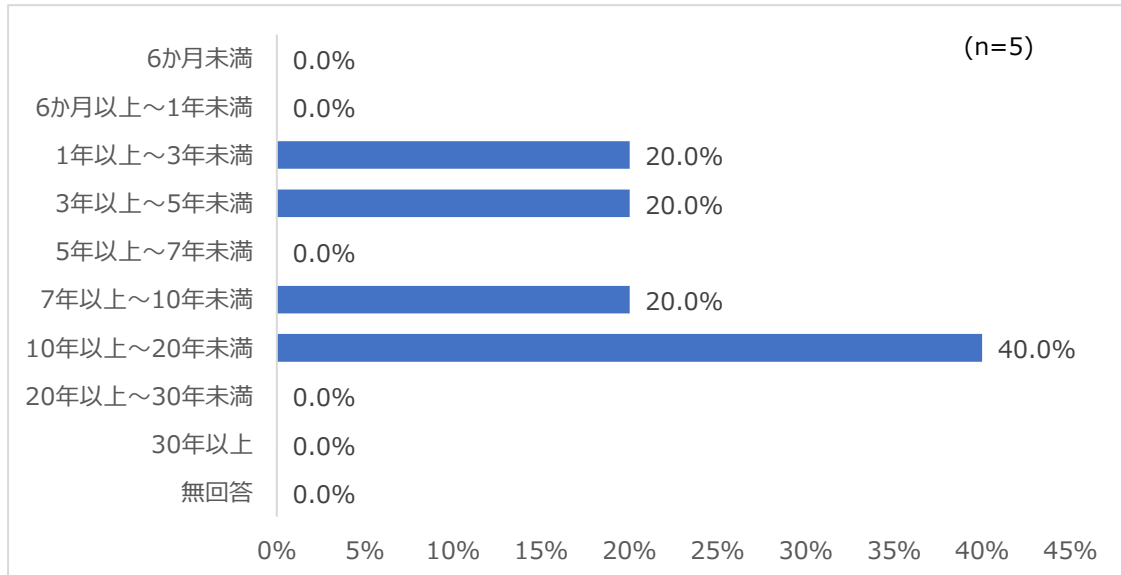
Q10 Q9の状態になったのは、**宛名の方**が何歳の頃ですか。



Q9の状態になったのは、何歳の頃か聞いたところ、「25～29歳」「55～59歳」「60～64歳」をあげた人の割合はそれぞれ18.2%、「19歳以下」「20～24歳」「35～39歳」「45～49歳」「無回答」をあげた人の割合はそれぞれ9.1%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

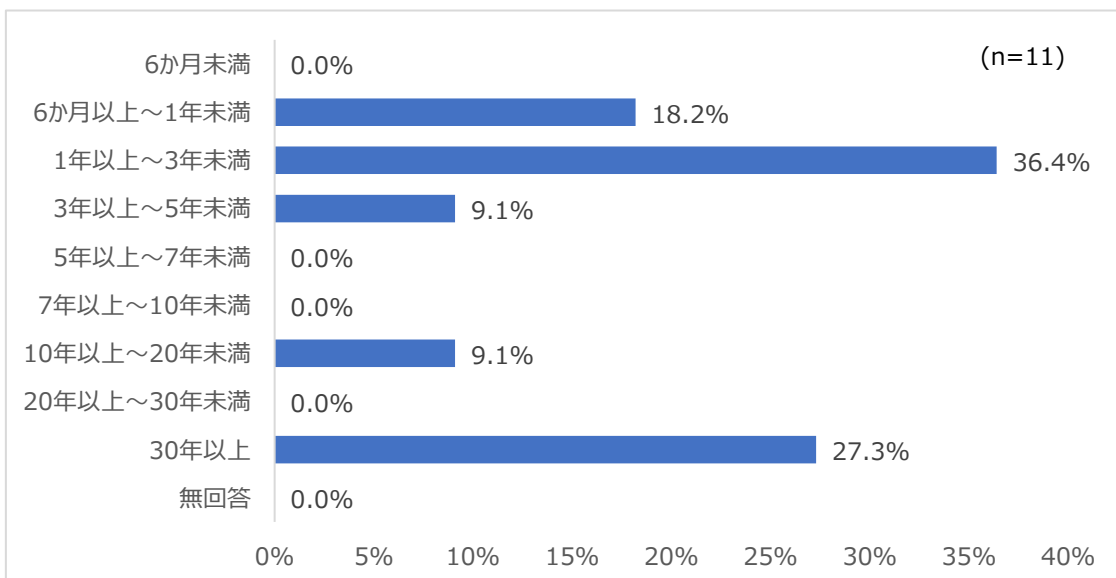
Q11 宛名の方がQ9の状態になってどのくらい経っていましたか。（〇はひとつだけ）



Q9の状態になってどのくらい経ったか聞いたところ、「10年以上～20年未満」をあげた人の割合は40.0%、「1年以上～3年未満」「3年以上～5年未満」「7年以上～10年未満」をあげた人の割合はそれぞれ20.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

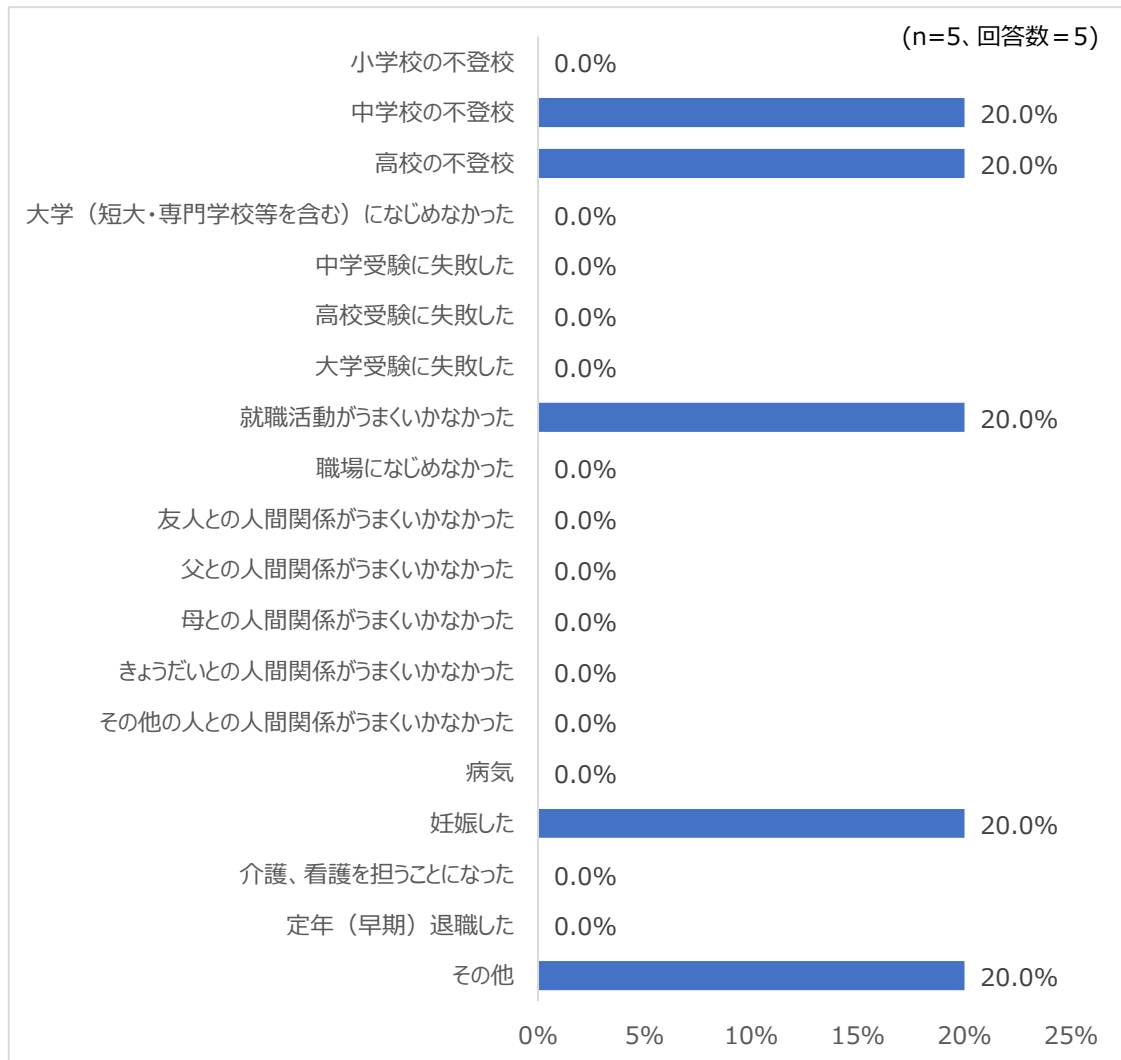
Q11 宛名の方がQ9の状態になってどのくらい経っていましたか。（〇はひとつだけ）



Q9の状態になってどのくらい経ったか聞いたところ、「1年以上～3年未満」をあげた人の割合は36.4%、「30年以上」をあげた人の割合は27.3%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

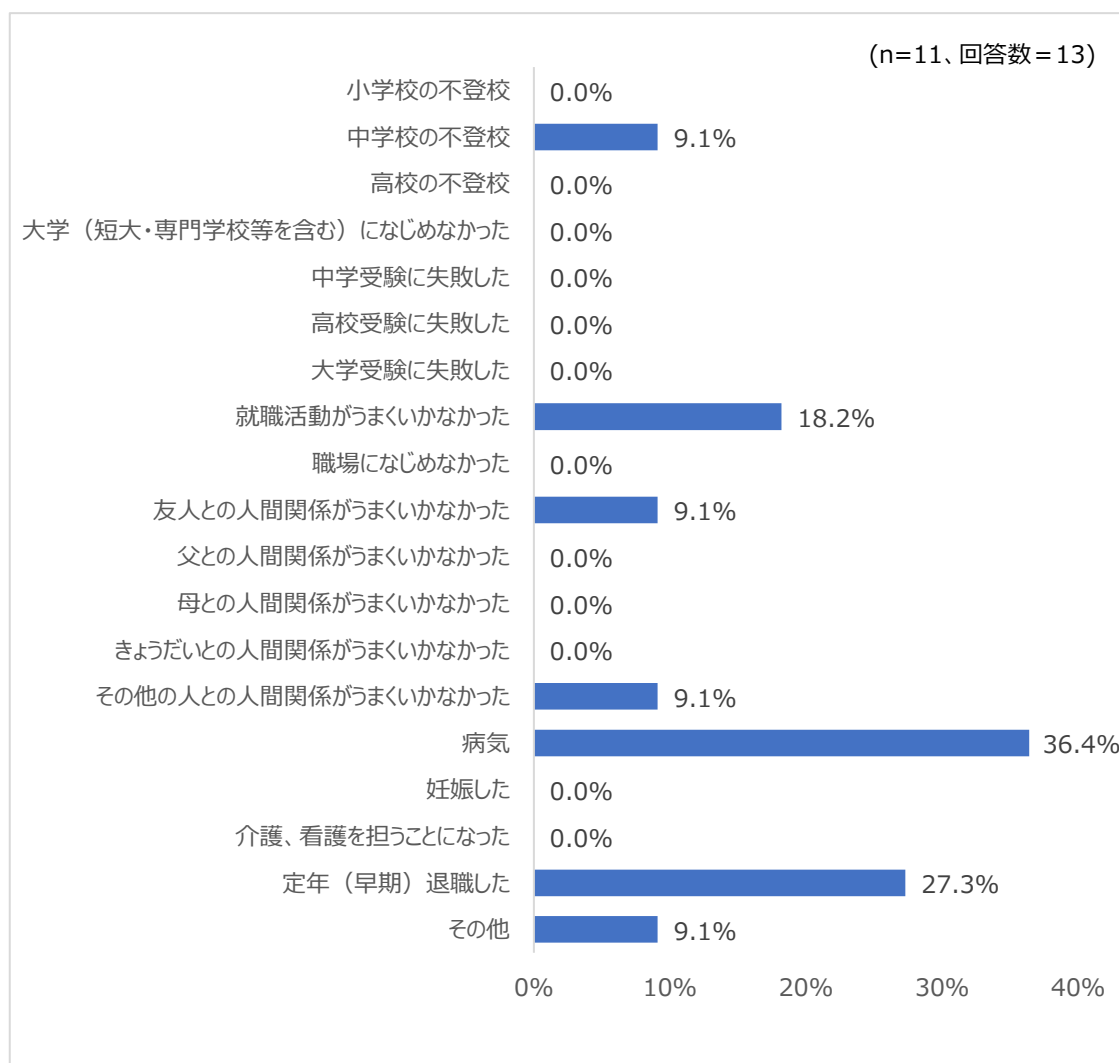
Q12 宛名の方がQ9の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）



Q9のような状態になったきっかけを聞いたところ、「中学校の不登校」「高校の不登校」「就職活動がうまくいかなかった」「妊娠した」「その他」をあげた人の割合はそれぞれ20.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

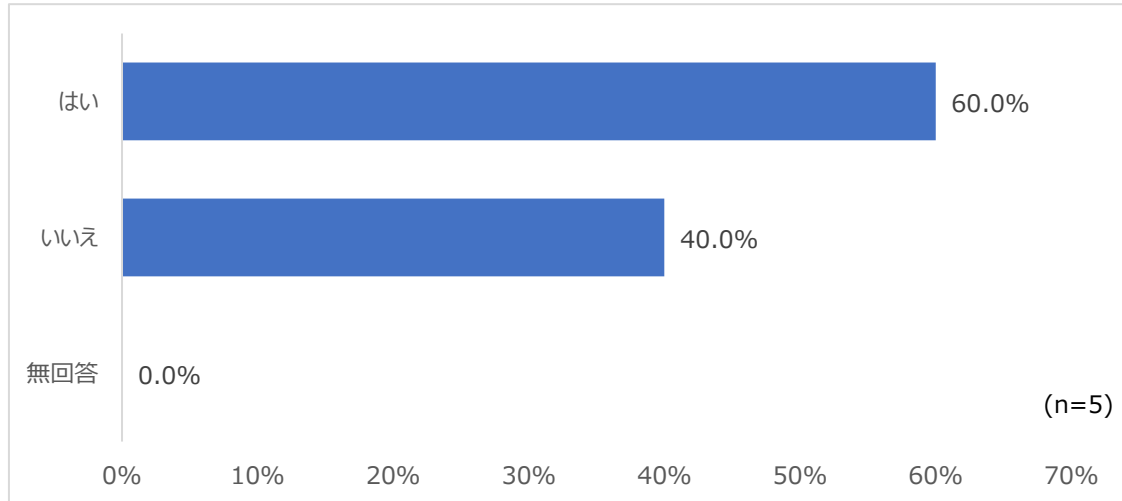
Q12 宛名の方がQ9の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）



Q9の状態になったきっかけを聞いたところ、「病気」をあげた人の割合は36.4%、「定年（早期）退職した」をあげた人の割合は27.3%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

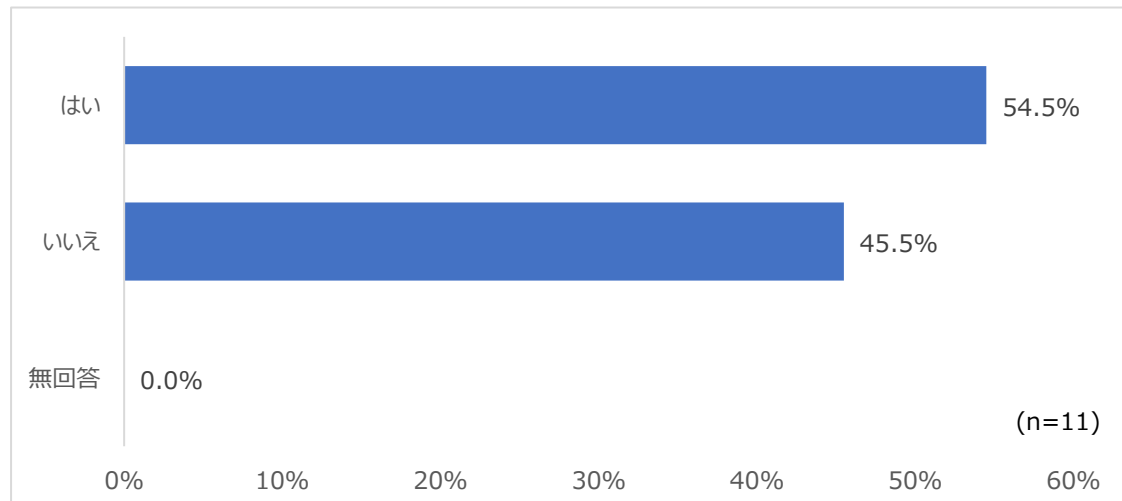
Q13 Q9 の状態について、**宛名の方**は相談機関・関係機関に相談したことがありますか。（○はひとつだけ）



ご本人が相談機関・関係機関に相談したことがあるかを聞いたとろ、「はい」をあげた人の割合は 60.0%、「いいえ」をあげた人の割合は 40.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q13 Q9 の状態について、**宛名の方**は相談機関・関係機関に相談したことがありますか。（○はひとつだけ）

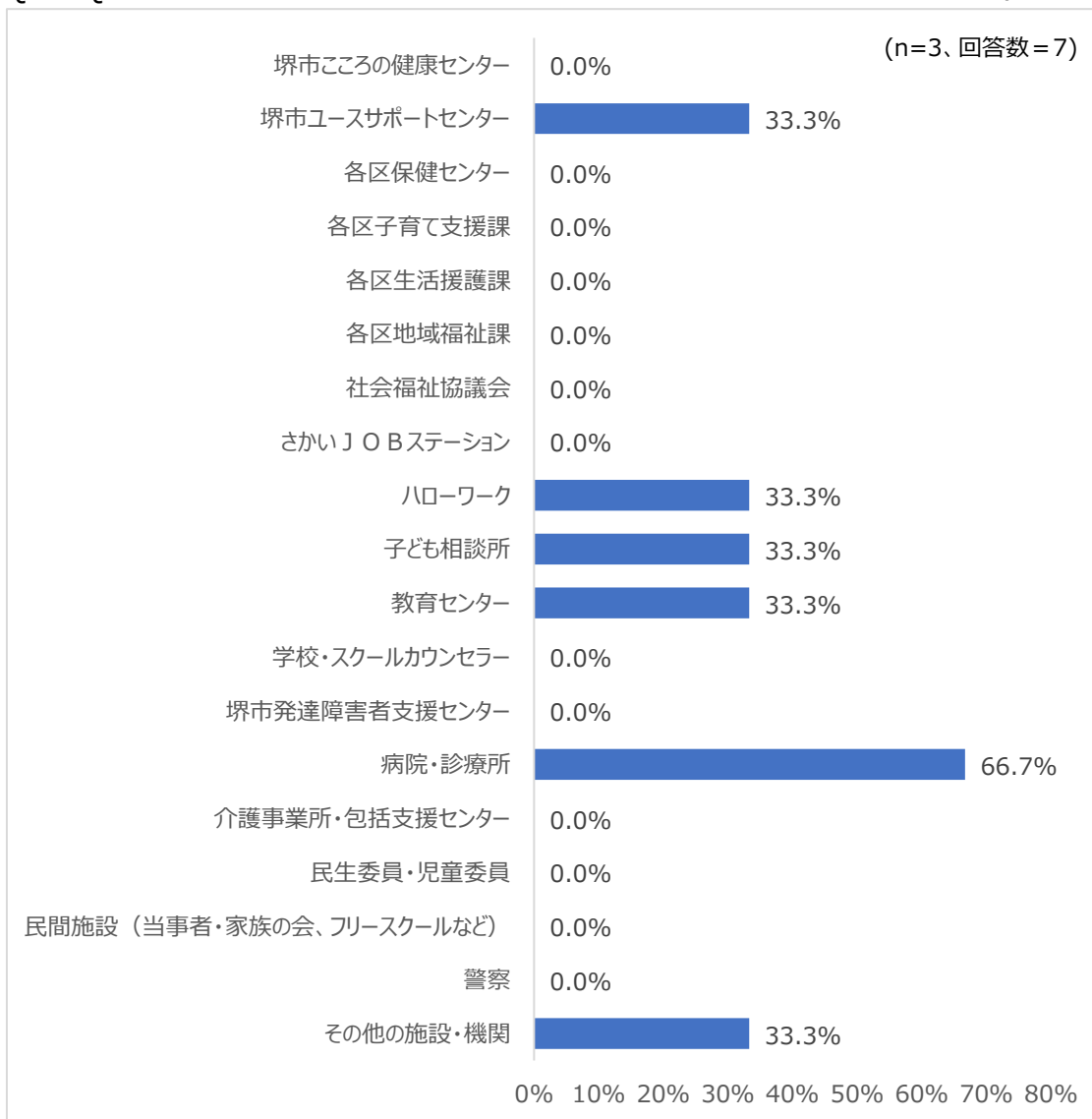


ご本人が相談機関・関係機関に相談したことがあるかを聞いたとろ、「はい」をあげた人の割合は 54.6%、「いいえ」をあげた人の割合は 45.5%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

Q13 において、「はい」と答えた方だけの回答である。

Q14 Q9 の状態に対して**宛名の方**はどのような機関に相談しましたか。（〇はいくつでも）

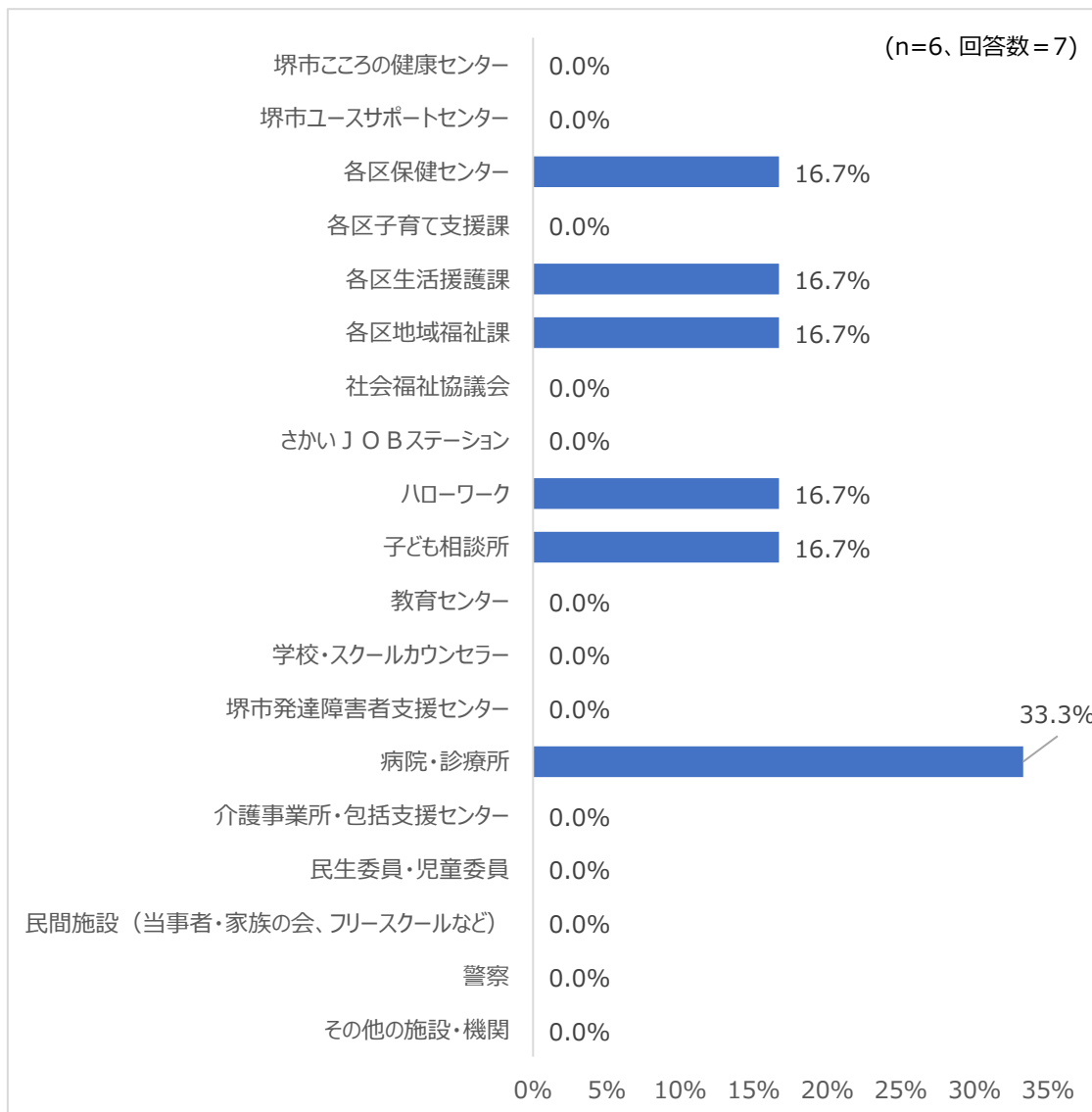


ご本人が相談したことのある機関についてきいたところ、「病院・診療所」をあげた人の割合は 66.7%、「堺市ユースサポートセンター」「ハローワーク」「子ども相談所」「教育センター」「その他の施設・機関」をあげた人の割合はそれぞれ 33.3%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q13において、「はい」と答えた方だけの回答である。

Q14 Q9の状態に対して**宛名の方**はどのような機関に相談しましたか。（〇はいくつでも）



ご本人が相談したことのある機関についてきいたところ、「病院・診療所」をあげた人の割合は33.3%、「各区保健センター」「各区生活援護課」「各区地域福祉課」「ハローワーク」「子ども相談所」をあげた人の割合はそれぞれ16.7%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

Q15 **宛名の方が**、相談機関・関係機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

本人からは行くことはなく、家族が連れていくが、本人が他人とは全く話さないなので、どうにもならない。

【同居人票 成人（満 40 歳～64 歳）】

Q15 **宛名の方が**、相談機関・関係機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

ディサービスを利用するように話をしてくれた。

対応してくれる職員のスキルに差があった。

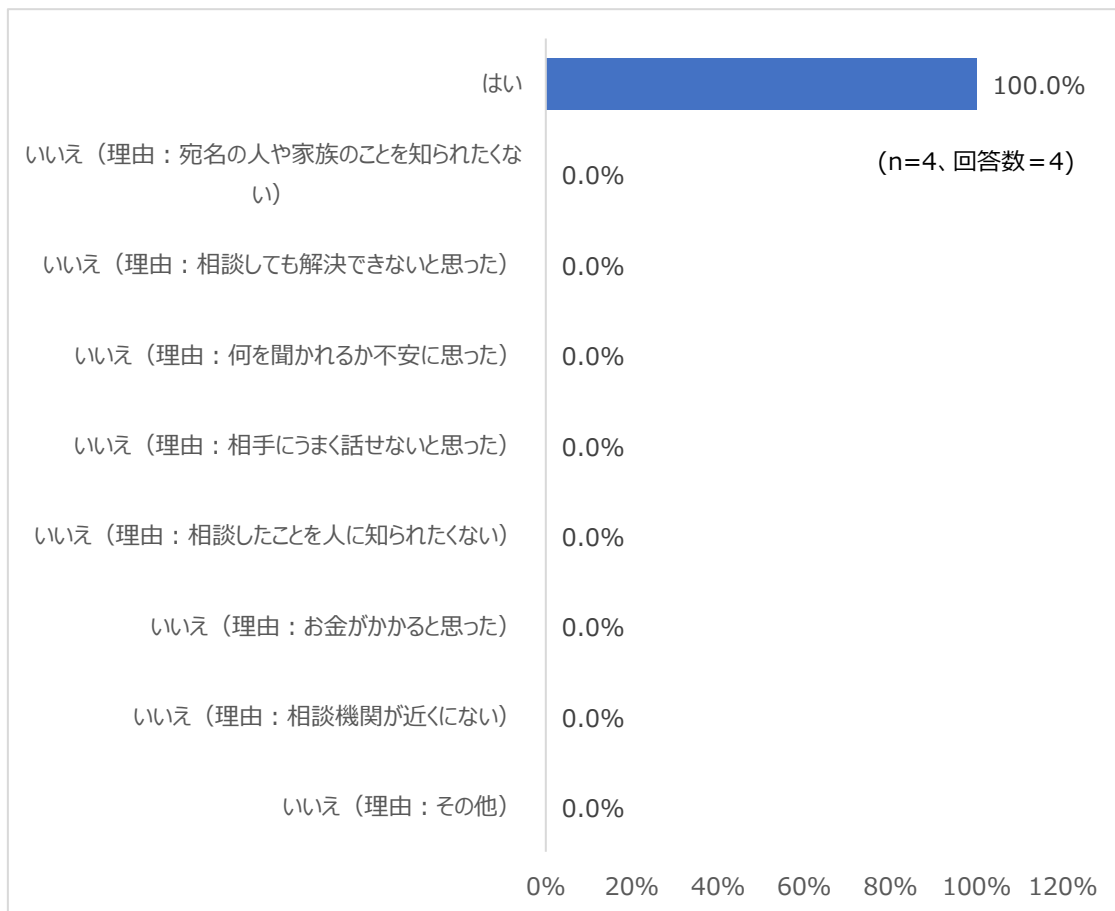
カウンセリング、他機関へのつなぎ等の能力が低かった。

親が 子ども に接する時、どのようにしたら良いか 言葉がけなどを学んだ。一番状態が重い時でしたので良い時、悪い時がありスムーズにはいきませんでした。時間がかかりました。

対面で相談することで、少しずつ前向きに動いてくれたらと期待しています。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

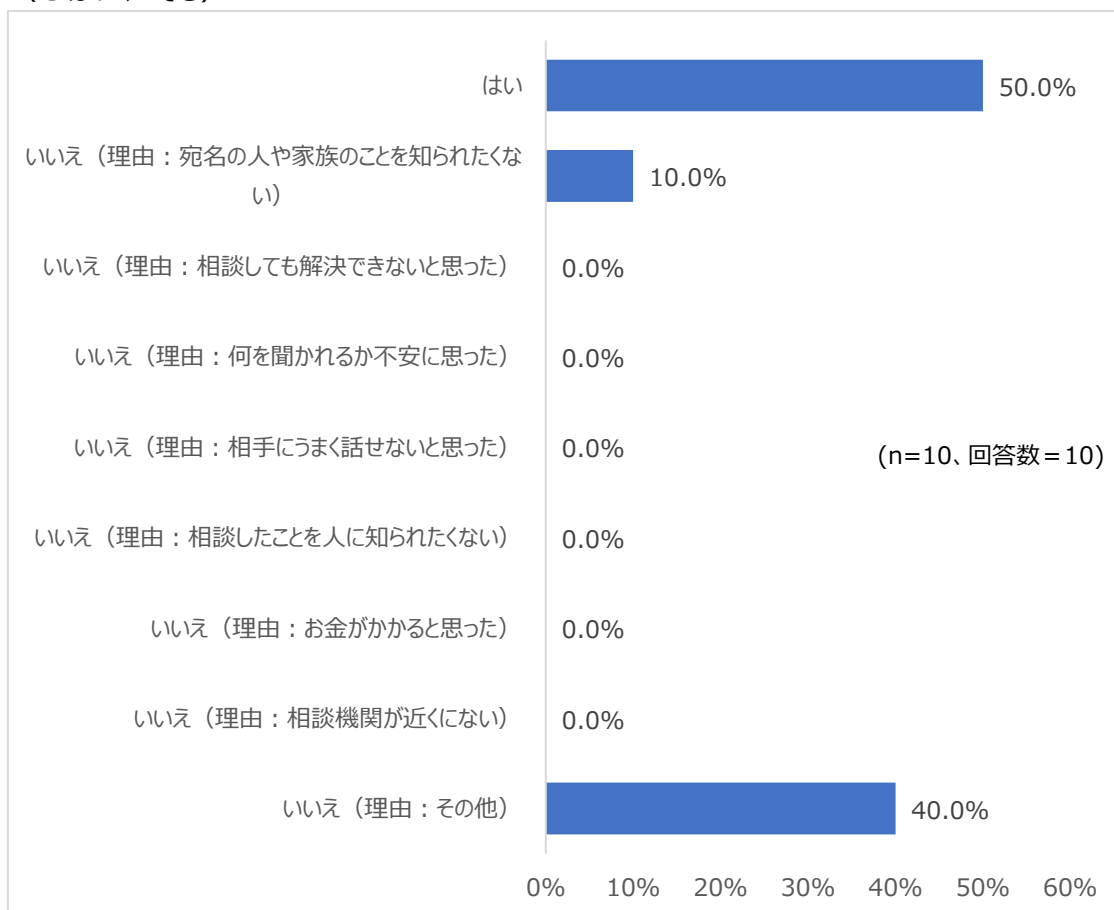
Q16 Q9 の状態について、同居されている方は相談機関・関係機関に相談したことがありますか。
（〇はいくつでも）



ご本人と同居されている方が相談機関・関係機関に相談したことがあるかを聞いたところ、「はい」をあげた人の割合は 100.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q16 Q9 の状態について、同居されている方は相談機関・関係機関に相談したことがありますか。
(〇はいくつでも)

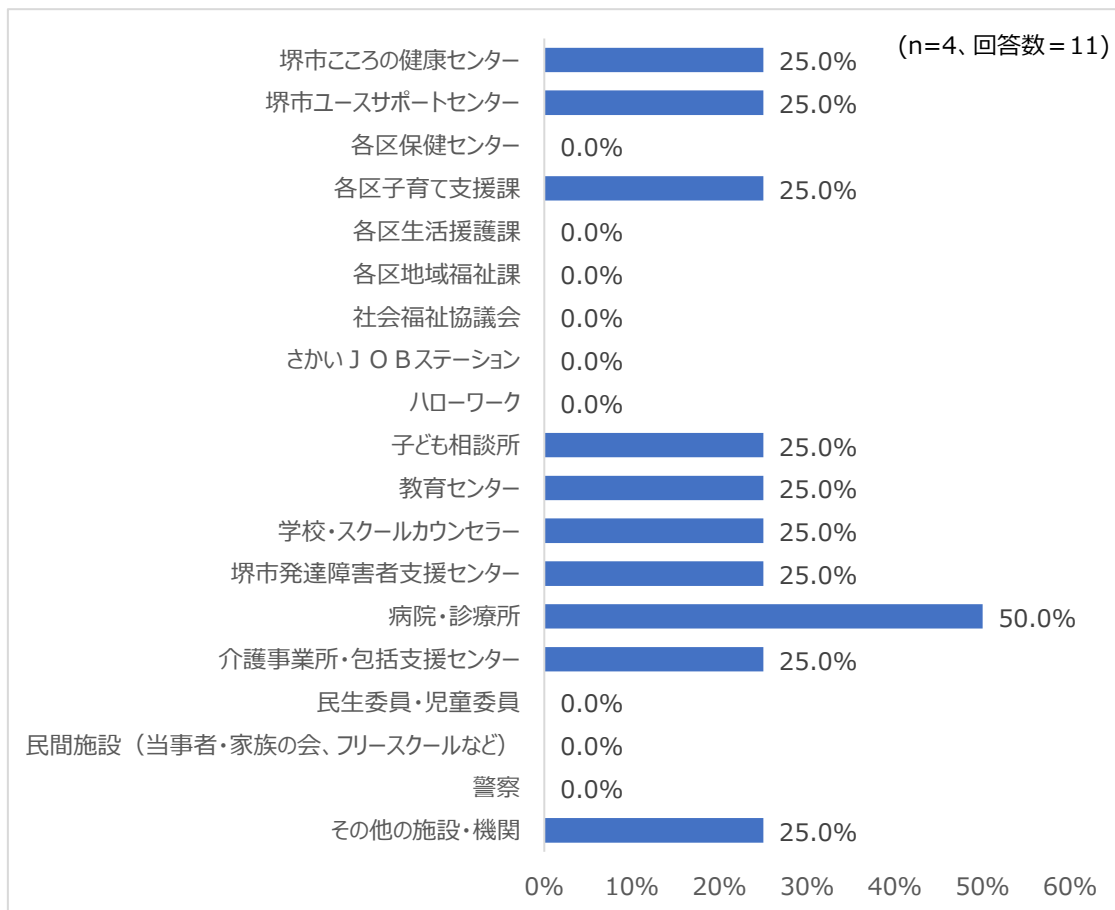


ご本人と同居されている方が相談機関・関係機関に相談したことがあるかを聞いたところ、「はい」をあげた人の割合は 50.0%、「いいえ（理由：その他）」をあげた人の割合は 40.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q16において、「はい」と答えた方みの回答である。

Q17 Q9 の状態に対して**同居されている方**はどのような機関に相談しましたか。（〇はいくつでも）

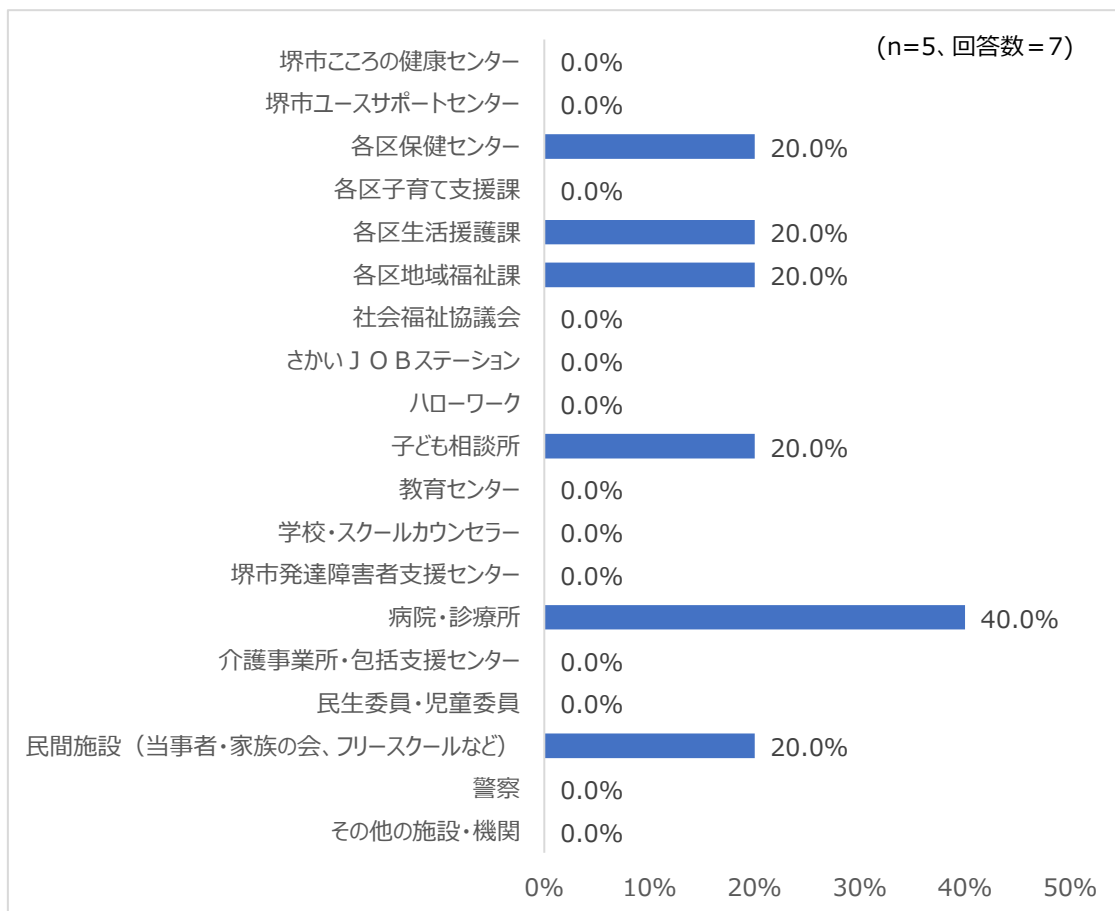


ご本人と同居されている方が相談したことのある機関についてきいたところ、「病院・診療所」をあげた人の割合は50.0%、「堺市こころの健康センター」「堺市ユースサポートセンター」「各区子育て支援課」「子ども相談所」「教育センター」「学校・スクールカウンセラー」「堺市発達障害者支援センター」「介護事業所・包括支援センター」「その他の施設・機関」をあげた人の割合はそれぞれ25.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q16において、「はい」と答えた方だけの回答である。

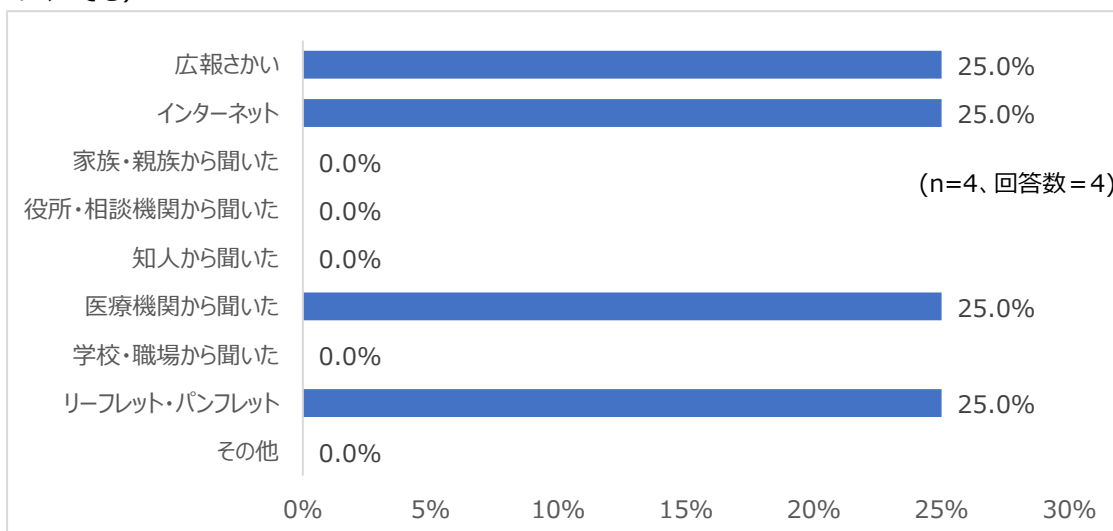
Q17 Q9 の状態に対して**同居されている方**はどのような機関に相談しましたか。（〇はいくつでも）



ご本人と同居されている方が相談したことのある機関についてきいたところ、「病院・診療所」をあげた人の割合は40.0%、「各区保健センター」「各区生活援護課」「各区地域福祉課」「子ども相談所」「民間施設（当事者・家族の会、フリースクールなど）」はそれぞれ20.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

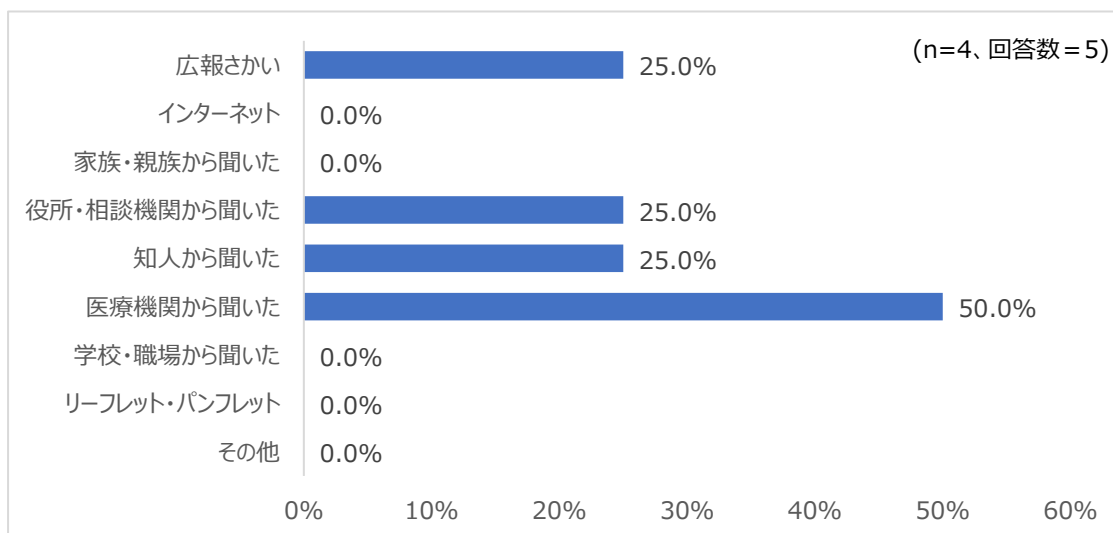
Q18、Q17でお答えいただいた機関について、同居されている方はどのように知りましたか。（〇はいつでも）



機関をどのように知ったかを聞いたところ、「広報さかい」「インターネット」「医療機関から」「リーフレット・パンフレット」をあげた人の割合はそれぞれ 25.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q18、Q17でお答えいただいた機関について、同居されている方はどのように知りましたか。（〇はいつでも）



機関をどのように知ったかを聞いたところ、「医療機関から聞いた」をあげた人の割合は 50.0%、「広報さかい」「役所・相談機関から聞いた」「知人から聞いた」をあげた人の割合はそれぞれ 25.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

Q19 **同居されている方**は、相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

それぞれ助けてくれる体制は整っているが、本人が全く心を開かないのでどうにもならない。家族が長年にわたり相談に通っているが、いつまでこんな生活が続くのか気が遠くなる。

【同居人票 成人（満 40 歳～64 歳）】

Q19 **同居されている方**は、相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

具体的な対応がなかった。表面的な対応 職員が忙しくされてオーバーワークな感じを受けた。

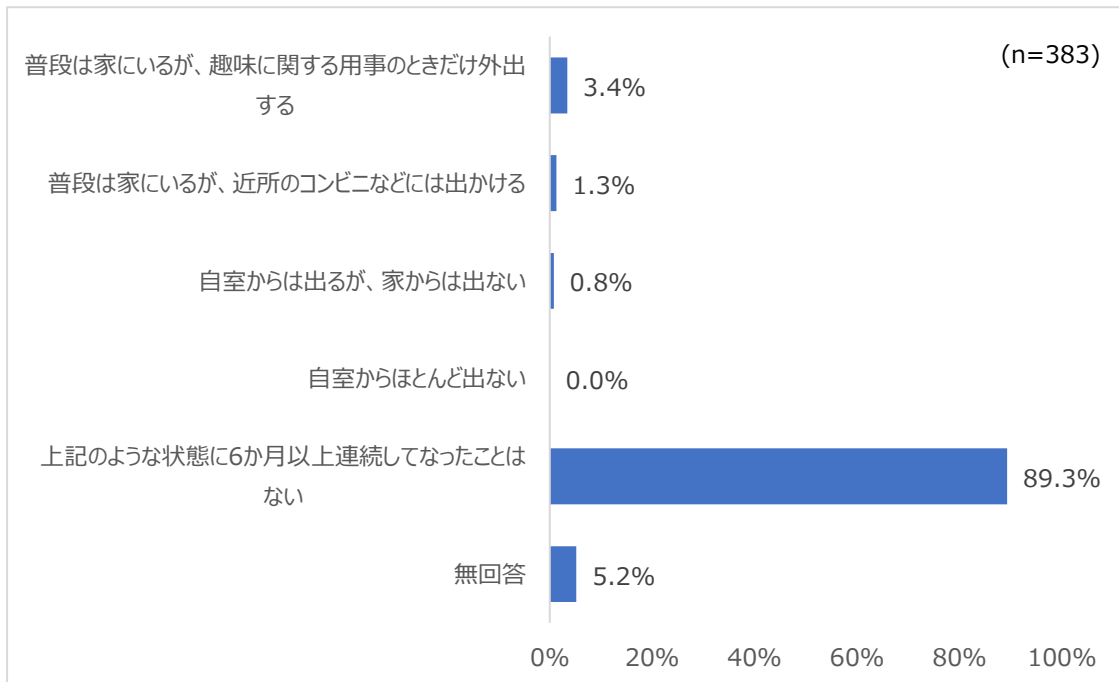
障害者施設を紹介してもらった。

とても親切に丁寧に対応していただきました。情報がなく、窓口にはなりませんが、解決方法はすぐには見つからず結局は家族関係の見直しが重要でした。

Q20～Q24 は、Q9において、外出頻度が高かった方がのみが回答する項目である。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

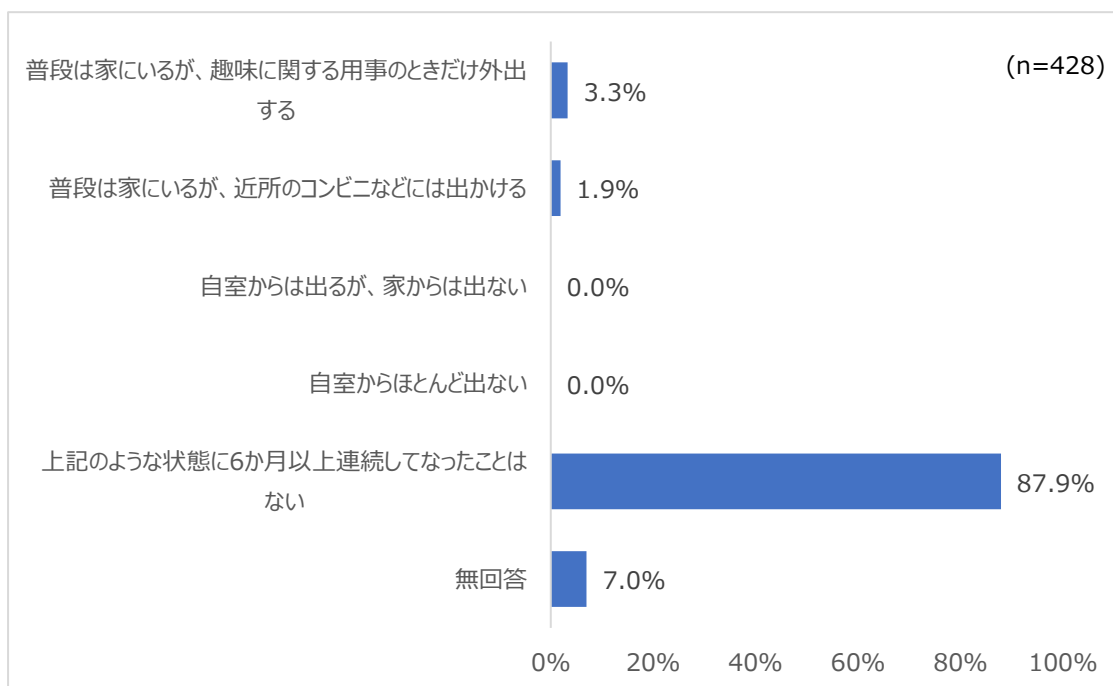
Q20 **宛名の方**は2021年より前に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。（○はひとつだけ）



2021年より前の外出頻度を聞いたところ、「上記のような状態に6か月以上連続してなったことはない」をあげた人の割合は89.3%、「普段は家にいるが、趣味に関する用事のときだけ外出する」をあげた人の割合は3.4%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q20 宛名の方は2021年より前に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。（〇はひとつだけ）

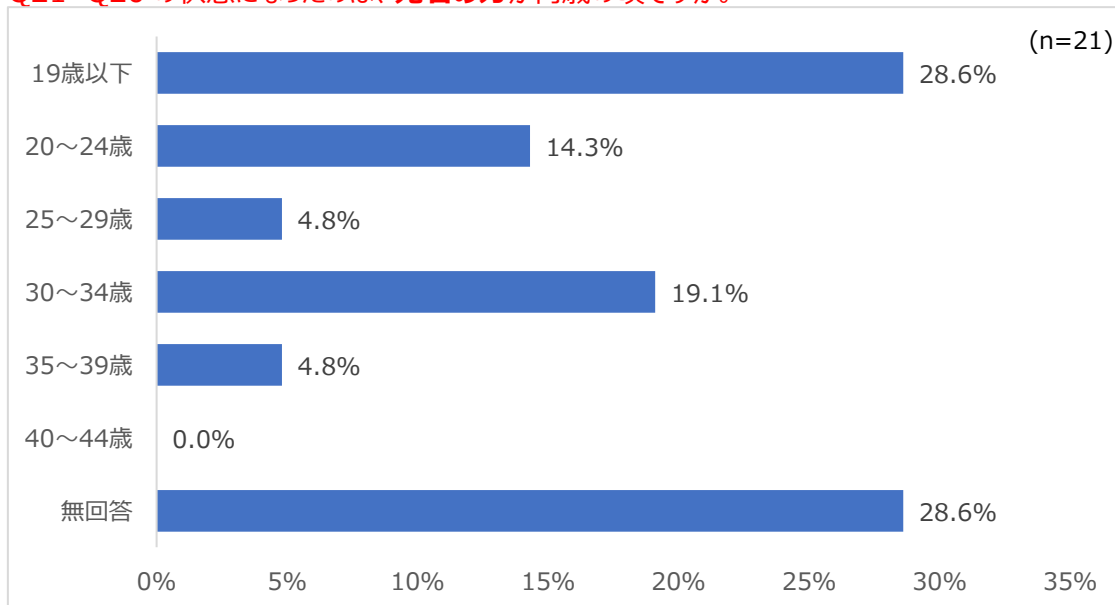


2021年より前の外出頻度を聞いたところ、「上記のような状態に6か月以上連続してなったことはない」をあげた人の割合は87.9%、「普段は家にいるが、趣味に関する用事の時だけ外出する」をあげた人の割合は3.3%となっている。

Q21～Q24 は Q20 において、外出頻度が低かった方がのみが回答する項目である。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

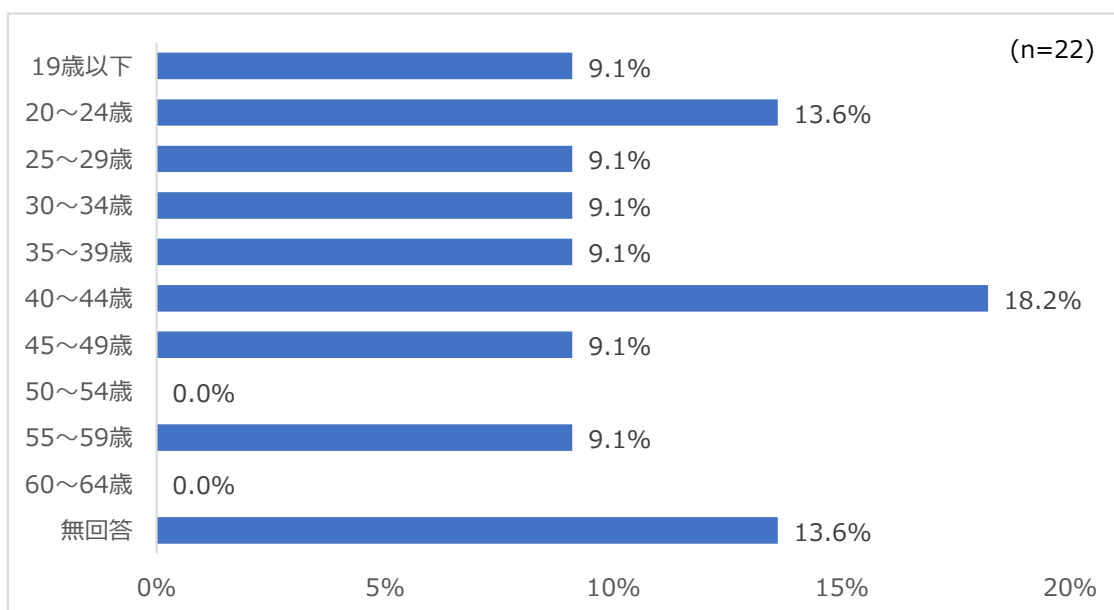
Q21 Q20 の状態になったのは、**宛名の方が何歳の頃**ですか。



Q20 の状態になったのは何歳の頃からかを聞いたところ、「19 歳以下」をあげた人の割合は 28.6%、「30～34 歳」をあげた人の割合は 19.1%となっている。

【同居人票 成人（満 40 歳～64 歳）】

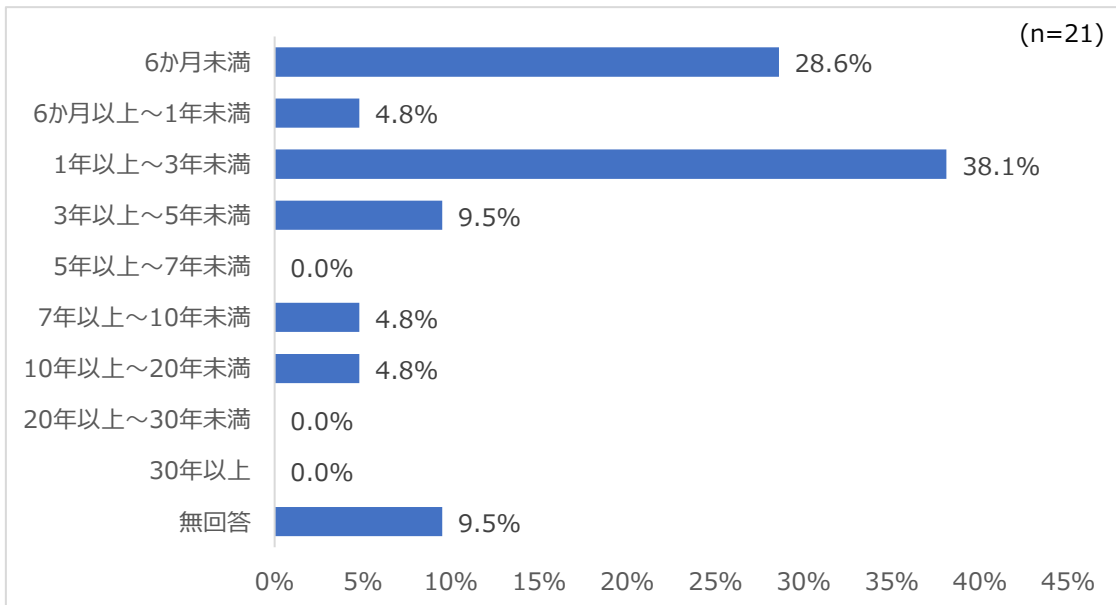
Q21 Q20 の状態になったのは、**宛名の方が何歳の頃**ですか。



Q20 の状態になったのは何歳の頃からかを聞いたところ、「40～44 歳」をあげた人の割合は 18.2%、「20～24 歳」をあげた人の割合は 13.6%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

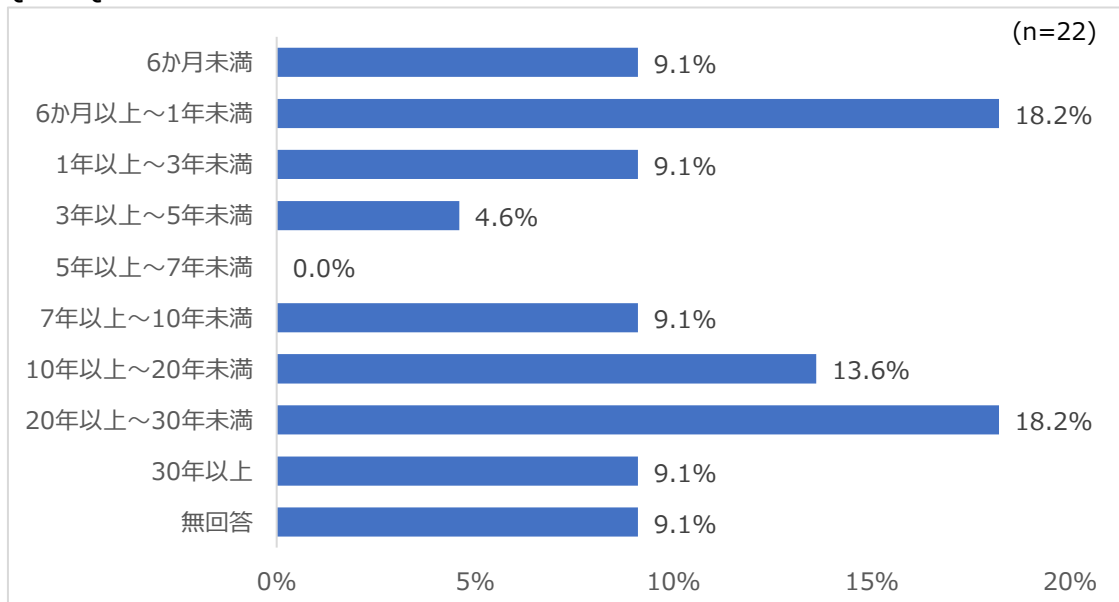
Q22 Q20の状態は、どれぐらい続きましたか。（○はひとつだけ）



Q20の状態がどれぐらい続いたかをきいたところ、「1年以上～3年未満」をあげた人の割合は38.1%、「6か月未満」をあげた人の割合は28.6%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

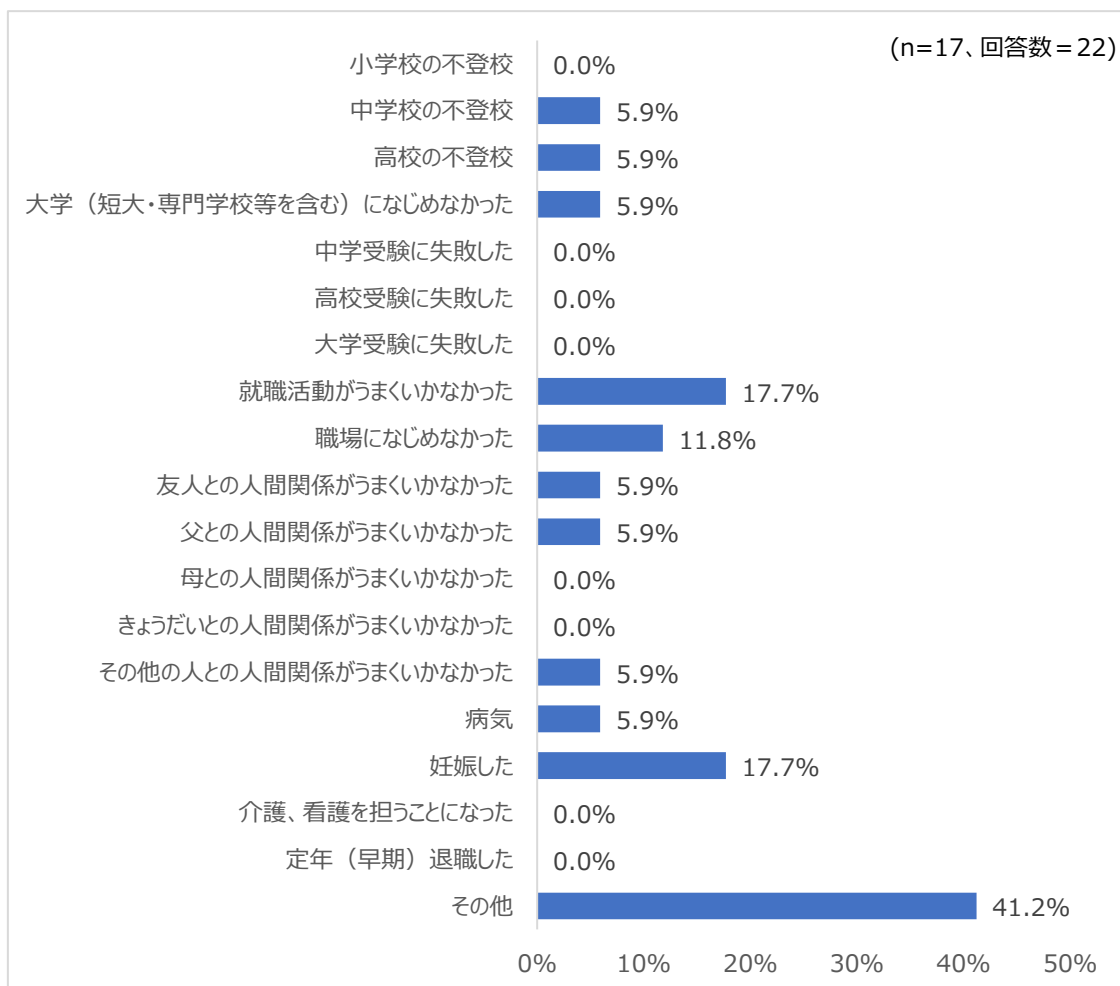
Q22 Q20の状態は、どれぐらい続きましたか。（○はひとつだけ）



Q20の状態がどれぐらい続いたかをきいたところ、「6か月以上～1年未満」「20年以上～30年未満」をあげた人の割合はそれぞれ18.2%、「10年以上～20年未満」をあげた人の割合は13.6%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

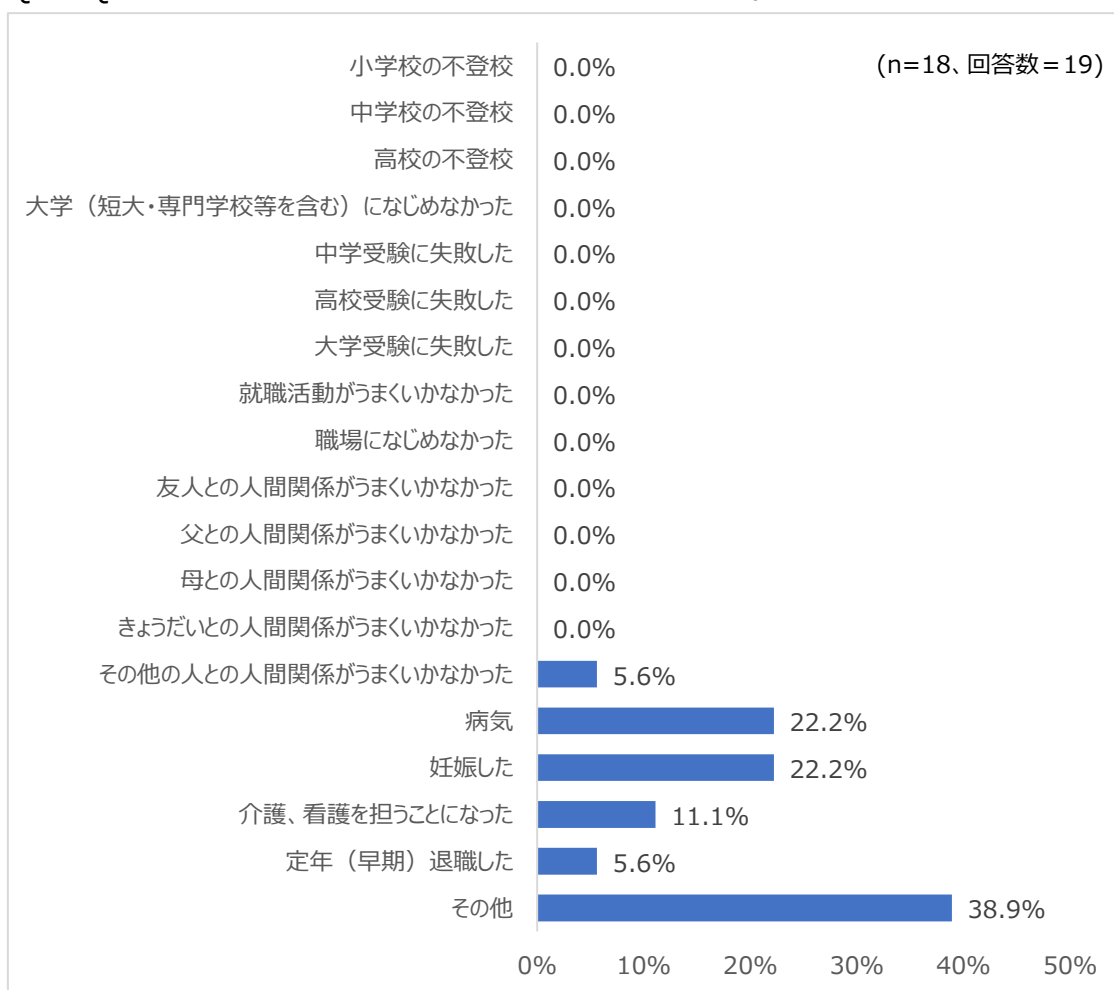
Q23 Q20 の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）



Q20 の状態になったきっかけをきいたところ、「その他」をあげた人の割合は 41.2%であり、「就職活動がうまくいかなかった」「妊娠した」をあげた人の割合はそれぞれ 17.7%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q23 Q20の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）



そのような状態になったきっかけをきいたところ、「その他」をあげた人の割合は38.9%、「病气」「妊娠した」をあげた人の割合はそれぞれ22.2%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

Q24 Q20 状態から現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

自分に自信がなかったから。
検査を受け、障害認定をうけ本人にあった仕事を探してもらったこと。
一人の時間が増えたこと。
就労支援を受けたこと。職場の配慮。
傷病手当。
電話相談で精神科を紹介してもらい、障害認定を受けたことで福祉につながる事ができた。家族の問題だけにせず他の人が関わることでいろいろな対処方法を提示してもらったこと。
自分でもわからない。
友人からの支援が大きい。
心療内科の先生や自立支援の相談機関で指導を受けたことで就職できた。
コロナがきっかけ。
「このままでは良くないだろうな」と思えたからだと思う。

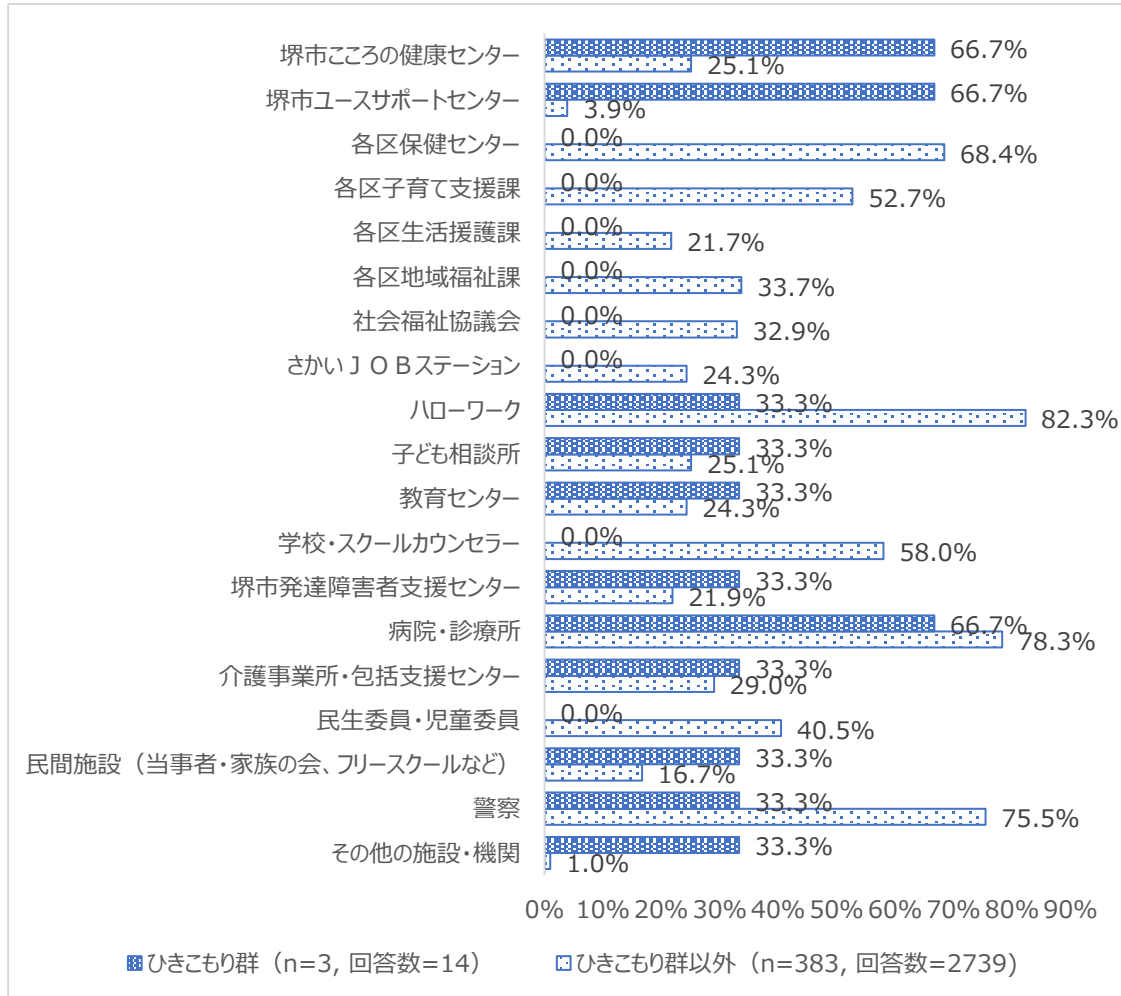
【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q24 Q20 状態から現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。

よくわからない。
結婚したから。
コロナ渦で必要最低限の外出にしていたから。
子どもとの外出が役に立った。
介護のため。
病気のため。
妊娠出産のため。子どもの病気のため。
給料が少なかったから。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

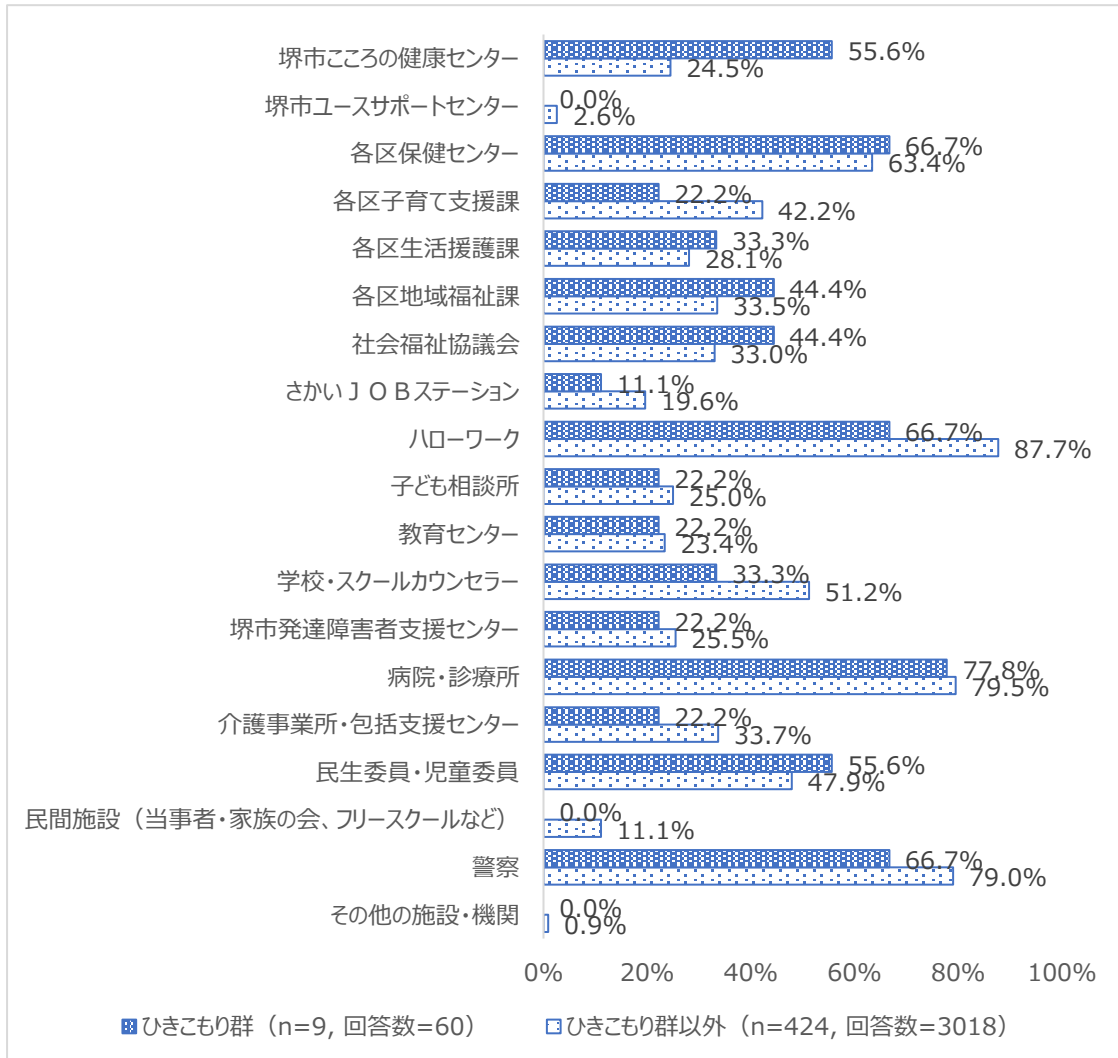
Q25 同居されている方へ、あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。（○はいくつでも）



知っている機関や事業を聞いたところ、「堺市こころの健康センター」をあげた人の割合はひきこもり群で 66.7%、ひきこもり群以外で 25.1%、「堺市ユースサポートセンター」をあげた人の割合はひきこもり群で 66.7%、ひきこもり群以外で 3.9%、「病院・診療所」をあげた人の割合はひきこもり群で 66.7%、ひきこもり群以外で 78.3%となっている。また「ハローワーク」をあげた人の割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 82.3%、「子ども相談所」をあげた割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 25.1%、「教育センター」をあげた割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 24.3%、「堺市発達障害者支援センター」をあげた割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 21.9%、「介護事業所・包括支援センター」をあげた人の割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 29.0%、「民間施設」をあげた人の割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 16.7%、「警察」をあげた人の割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 75.5%、「その他施設・機関」をあげた人の割合はひきこもり群で 33.3%、ひきこもり群以外で 1.0%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q25 同居されている方へ、あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

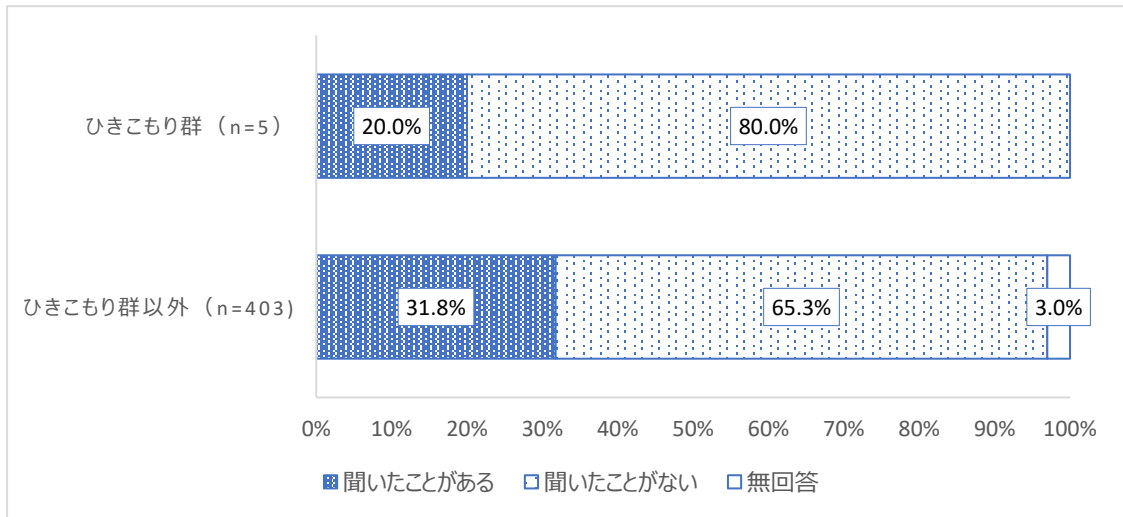


知っている機関や事業について聞いたところ、「病院、診療所」をあげた人の割合はひきこもり群で77.8%、ひきこもり群以外は79.5%、「各区保健センター」をあげた人の割合はひきこもり群で66.7%、ひきこもり群以外で63.4%、「ハローワーク」をあげた人の割合はひきこもり群で66.7%、ひきこもり群以外で87.7%、「警察」をあげた人の割合はひきこもり群で66.7%、ひきこもり群以外で79.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

① ひきこもり状態の方は100人に1人程度いると推計されている。

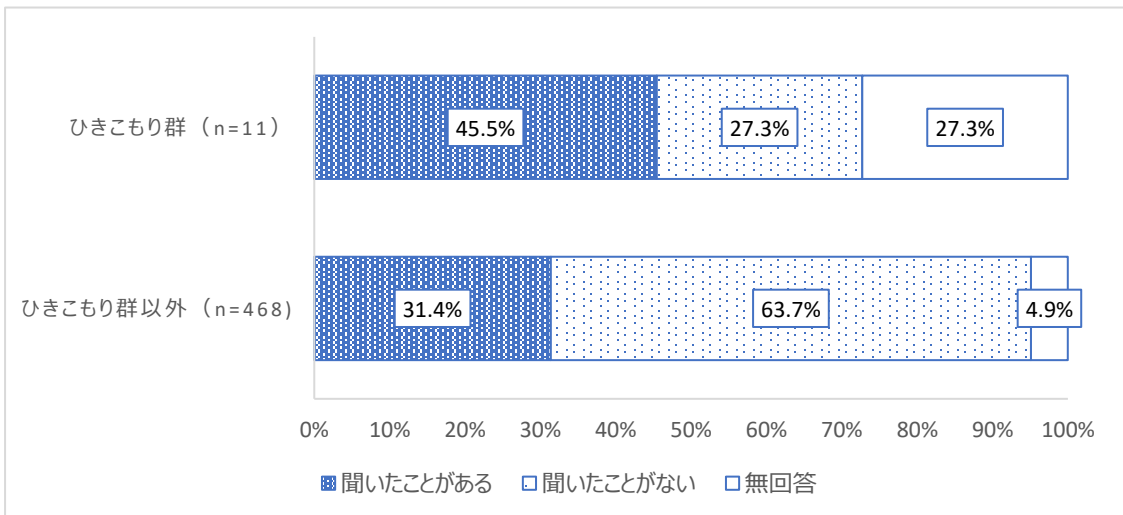


「聞いたことがある」がひきこもり群で20.0%、ひきこもり群以外で31.8%、「聞いたことがない」がひきこもり群で80.0%、ひきこもり群以外で65.3%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

① ひきこもり状態の方は100人に1人程度いると推計されている。

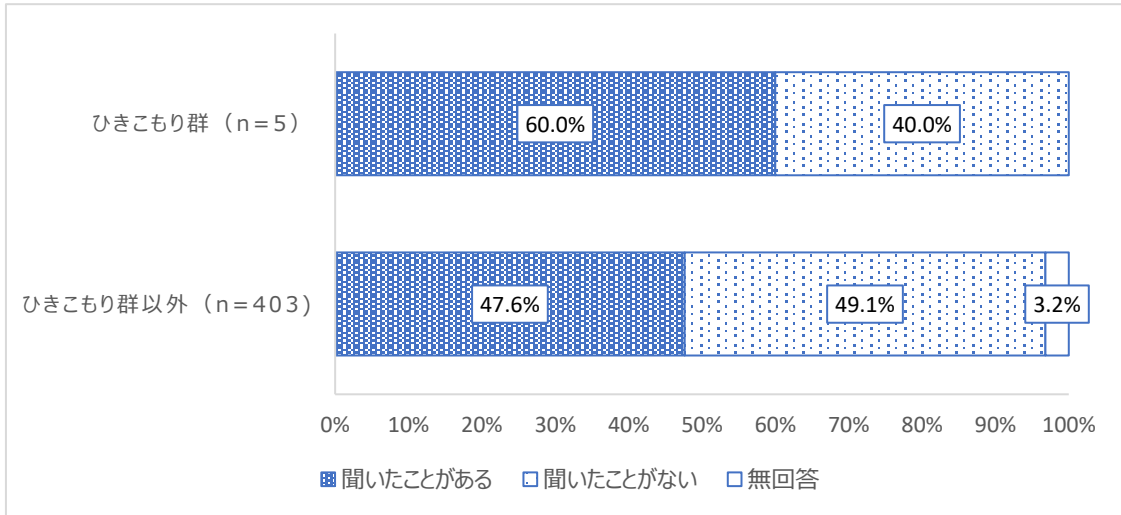


「聞いたことがある」がひきこもり群で45.5%、ひきこもり群以外で31.4%、「聞いたことがない」がひきこもり群で27.3%、ひきこもり群以外で63.7%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

② 「ひきこもり」は病気ではなく状態像である。

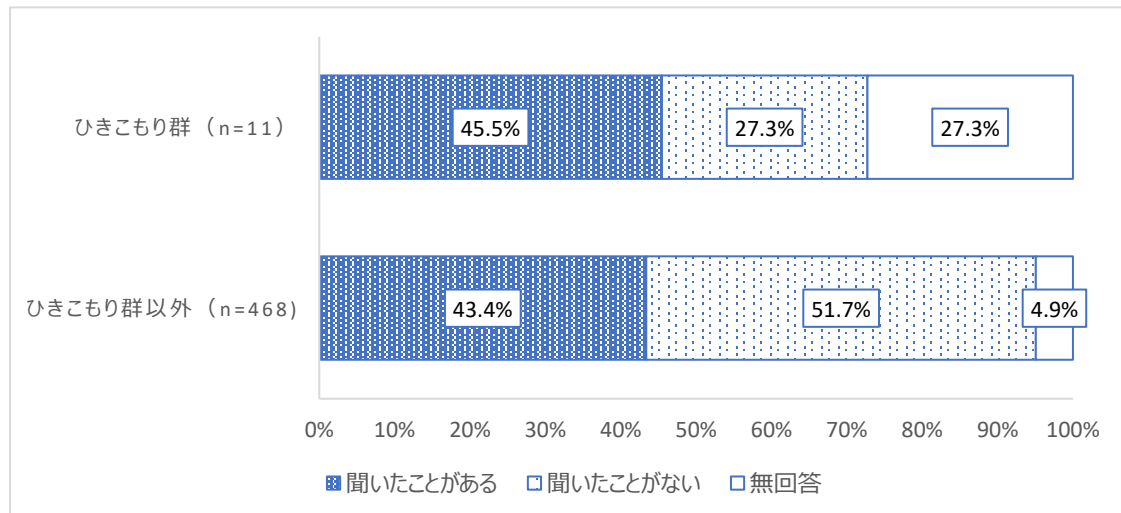


「聞いたことがある」がひきこもり群で 60.0%、ひきこもり群以外で 47.6%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 40.0%、ひきこもり群以外で 49.1%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

② 「ひきこもり」は病気ではなく状態像である。

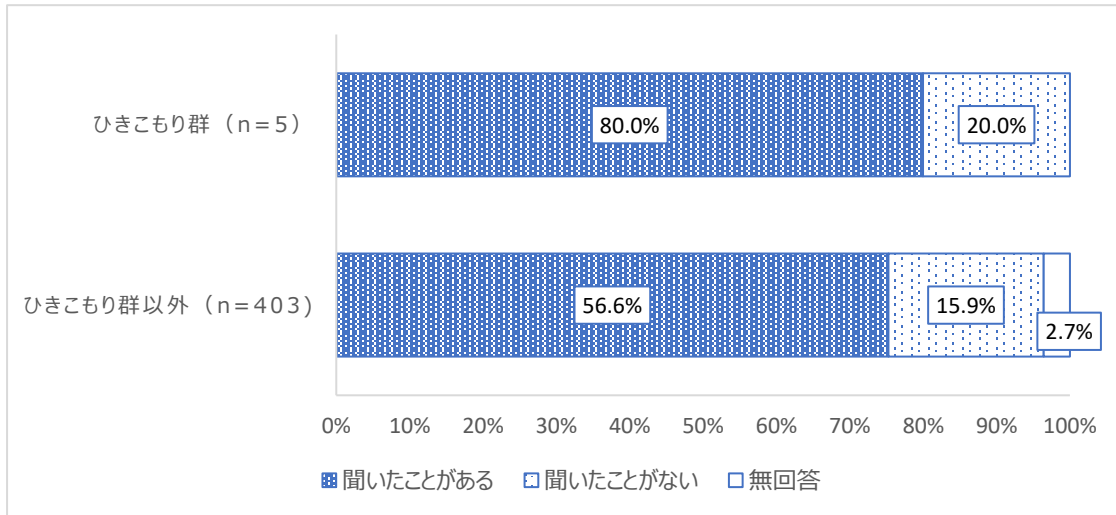


「聞いたことがある」がひきこもり群で 45.5%、ひきこもり群以外で 43.4%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 27.3%、ひきこもり群以外で 51.7%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

③ ひきこもりという状態は同じでも、背景や思いは一人ひとり違う。

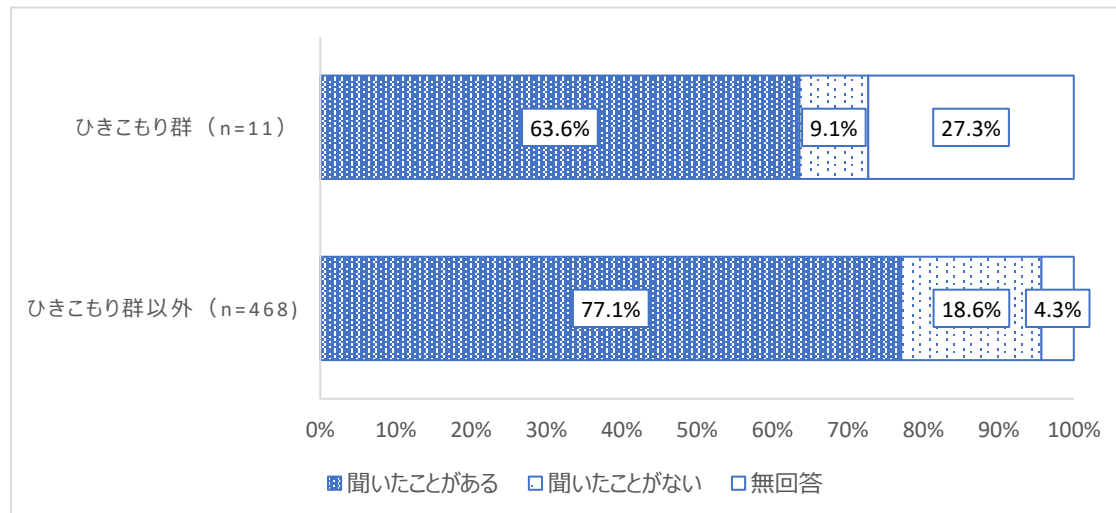


「聞いたことがある」がひきこもり群で 80.0%、ひきこもり群以外で 56.6%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 15.9%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

③ ひきこもりという状態は同じでも、背景や思いは一人ひとり違う。

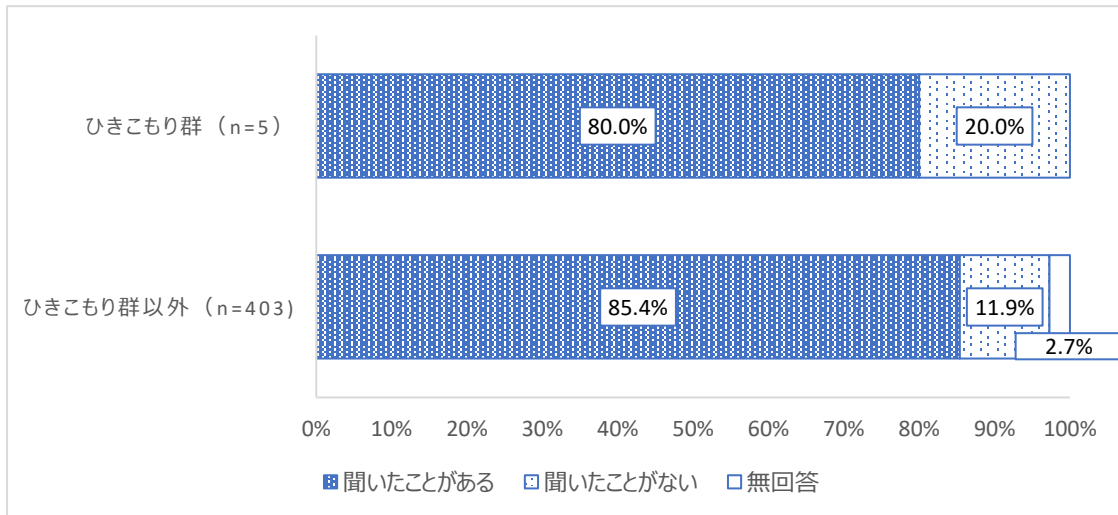


「聞いたことがある」がひきこもり群で 63.6%、ひきこもり群以外で 77.1%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 9.1%、ひきこもり群以外で 18.6%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

④ 「ひきこもり」の解決には時間がかかる。

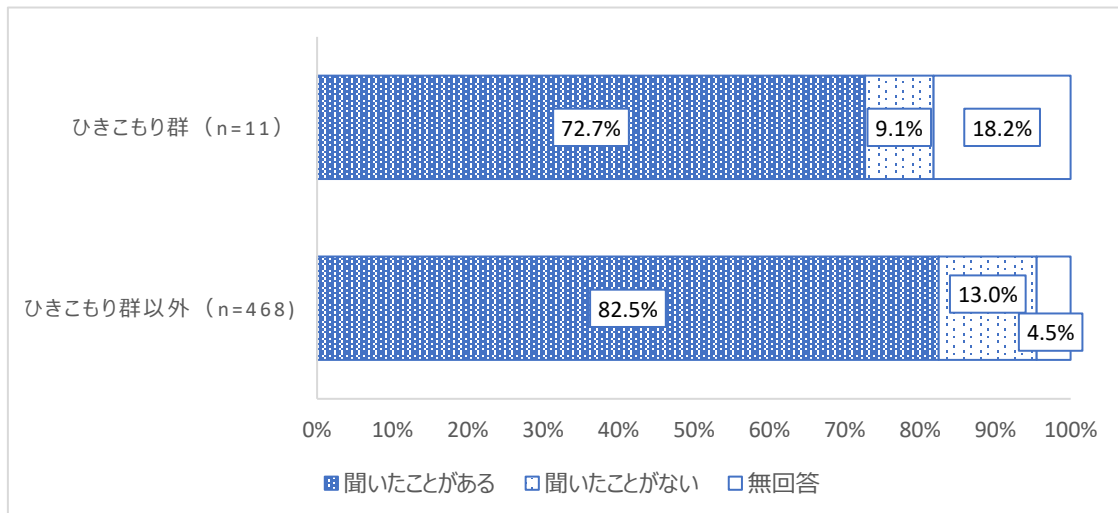


「聞いたことがある」がひきこもり群で 80.0%、ひきこもり群以外で 85.4%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 11.9%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

④ 「ひきこもり」の解決には時間がかかる。

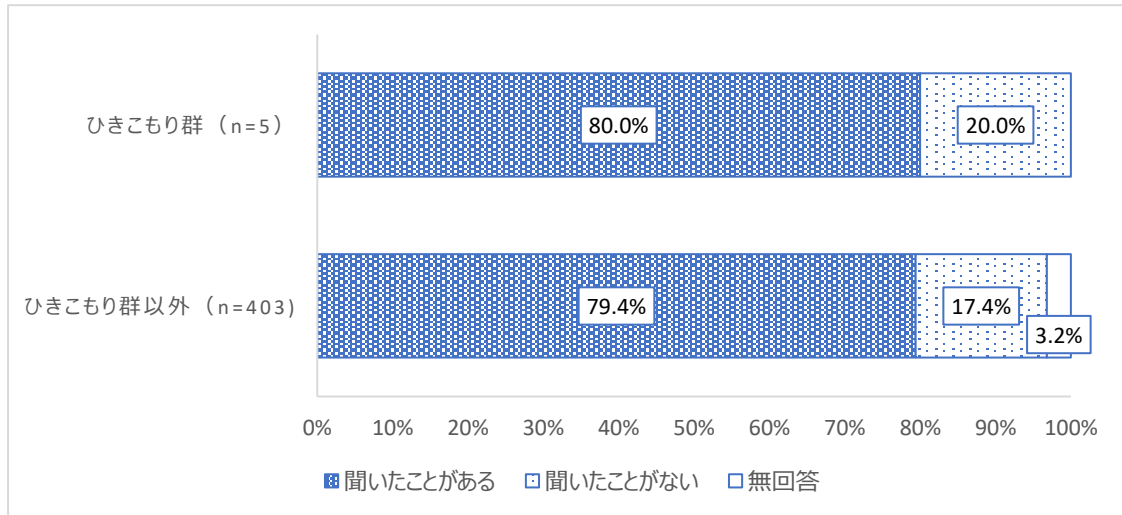


「聞いたことがある」がひきこもり群で 72.7%、ひきこもり群以外で 82.5%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 9.1%、ひきこもり群以外で 13.0%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満15歳～39歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

⑤ 本人または家族の孤立化を防ぐことが重要だ。

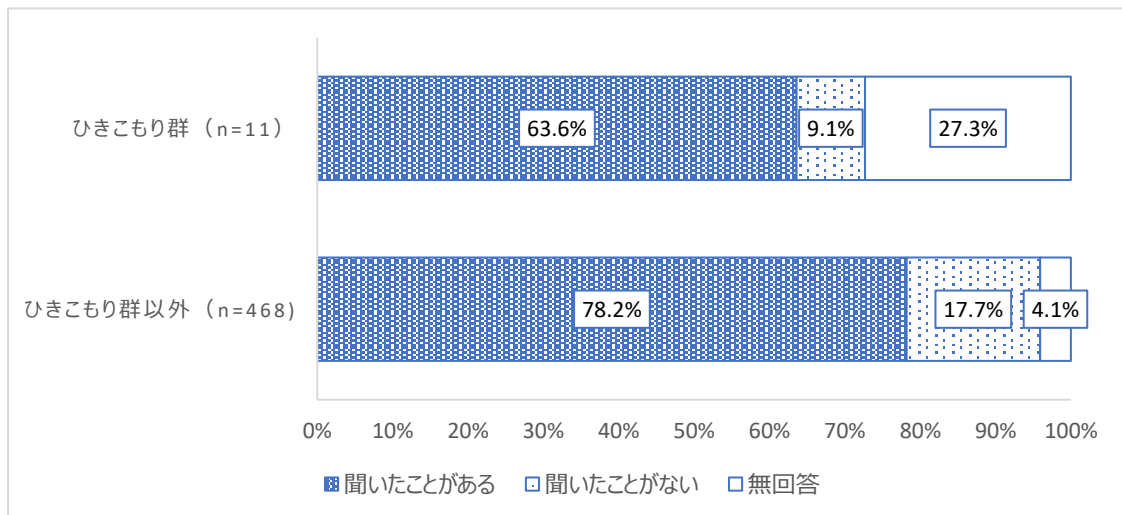


「聞いたことがある」がひきこもり群で 80.0%、ひきこもり群以外で 79.4%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 20.0%、ひきこもり群以外で 17.4%となっている。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q26 同居されている方へ、あなたが、「ひきこもり」について、聞いたことがあることを教えてください。

⑤ 本人または家族の孤立化を防ぐことが重要だ。



「聞いたことがある」がひきこもり群で 63.6%、ひきこもり群以外で 78.2%、「聞いたことがない」がひきこもり群で 9.1%、ひきこもり群以外で 17.7%となっている。

【同居人票 子ども・若者（満 15 歳～39 歳）】

Q27 堺市では、ひきこもり状態にある方やそのご家族への支援のあり方を検討しています。こうした支援について、ご意見があれば自由にお書きください。

就労支援の相談窓口（施設）を増やしてほしい。
専門相談の充実、大人のひきこもりの居場所づくり。アウトリーチ支援。
もっと周知啓発、情報提供してほしい。研修や事例検討など。
周囲の接し方を教えてほしい。自発的に動けない方へのアプローチを知りたい。
I C Tを用いた支援、交流があればいい。
周りにひきこもり状態の方がいる。
アンケートの文面が理解し難いです。調査人数が少ない。
労働環境を整えてほしい。柔軟な雇用形態。
オンライン登校や転校を認めてほしい。
家族の支援、交流の場がほしい。
親の責任。行政が過保護。
じっくり話をきいてほしい。寄り添ってほしい。家族も含めて孤立させないように。
高齢者の孤独対策を考えてほしい。
家族が高齢の場合、情報が届きにくい。
フリースクールへの補助金を考えてほしい。
コロナで支援が減り残念だった。
本当に疲れている。助けてほしい。困ったときにすぐに動いてほしい。
ひきこもりになりそうな早めの段階に相談できるところがほしい。予防が大切。
身近な地域での見守り、声かけが大切。
引きこもりになるのは、精神の弱さからであると考え。幼い頃から精神をきたえるべきだ。
早い回復に着眼点をおかず、本人の幸せにつながる回復支援をお願いします。
ひきこもりをある種の恥と考えてしまっている人が少なくないように感じる。「ひきこもり」になった現在だけに目が向かぬように広く理解を求めていく必要があると思う。
支援者の確保が必要。
医療機関の理解や支援が必要。

【同居人票 成人（満40歳～64歳）】

Q27 堺市では、ひきこもり状態にある方やそのご家族への支援のあり方を検討しています。こうした支援について、ご意見があれば自由にお書きください。

偏見を減らし、普及啓発が必要。
「ひきこもり」の具体的な基準を教えてほしい。支援機関利用者の声などききたい。
楽しみがない今まで仕事に恵まれなかった。
家族以外との信頼できるつながりが大切。
公的な学習支援が必要。
家族の支援を充実させてほしい。
ひきこもりの方を把握するシステムが必要。
相談窓口をもっとわかりやすくしてほしい。相談の敷居が高い。
周囲の愛情不足だと思います。
不登校について学校に相談できなかった。
行政の負担が心配。民間に予算をだして任せるべき。
本人に寄り添う関わりが必要。人に話せず苦しんでいる。認めてもらえる経験が必要。
ボランティアなど活動の場の充実。
気軽に参加できるような居場所が良い。
個々の事情に合わせた支援が必要だと思います。
あなたはひとりではないという支援ができれば良いと思う。小さなことでも協力したいと思う。
親の高齢化が問題。8050問題。
幼児の頃からの教育が大切。
支援機関につながるまでの身近な支援を充実させてほしい。
女性が明るいとひきこもりになりにくいと思う。
相談しても解決しなかった。
行政から予防的な介入をしてほしい。もう一歩ふみこんだ介入が必要。
当事者、家族同志の自助グループがたくさんあればよいと思う。
就職氷河期世代への支援を充実させてほしい。
無理に解消しようとするのは逆効果になり得る。時間をかけて支援してほしい。
I C Tを用いた交流。
大人は自己責任だと思う。
どんな支援があるのかわからず不安。
ひきこもりの原因となる社会的要因を改善する必要がある。

